

平成 28 年度
栃木県観光動態調査

報告書（概要版）

平成 29 年 3 月
栃木県産業労働観光部観光交流課

目次

第1章 調査の概要	1
1.調査の目的及び方法	1
2.調査報告書の見方	3
第2章 観光客調査 調査結果.....	7
1.日帰り客.....	7
2.宿泊客	21

第1章 調査の概要

1. 調査の目的及び方法

(1) 調査目的

栃木県を訪れる旅行者の流動実態について、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」、「観光入込客統計に関する共通基準調査要領」等に基づき、栃木県を訪れる観光客に対するアンケートを行い、栃木県の観光実態を把握し、観光動向を分析する。

(2) 調査概要

① 観光地点調査

調査手法：県内の観光地点（15カ所）にて調査員が聞き取り（土日祝日から1日）

調査地点：

エリア	調査観光地点名
那須エリア 計3カ所	①道の駅那須高原友愛の森
	②那須ガーデンアウトレット
	③アグリパル塩原
日光エリア 計3カ所	④二社一寺（日光東照宮）
	⑤華厳の滝（県営華厳第2駐車場）
	⑥東武ワールドスクエア
県央エリア 計3カ所	⑦道の駅うつのみや ろまんちっく村
	⑧道の駅きつれがわ
	⑨道の駅ばとう
県東エリア 計3カ所	⑩道の駅「もてぎ」
	⑪陶芸メッセ・益子
	⑫道の駅はが
県南エリア 計3カ所	⑬足利学校
	⑭佐野プレミアム・アウトレット
	⑮とちぎ山車会館

② 調査対象

調査地点に訪れる全ての方（日本人のみ）

③ 調査時期

第1回：平成28年6月／7月

第2回：平成28年9月

第3回：平成28年11月

第4回：平成29年1月

(3) アンケート回答状況

有効サンプル数：3,786 票

	第一回調査	第二回調査	第三回調査	第四回調査	合計
観光地点調査	979 件	943 件	978 件	886 件	3,786 件

①調査地点別回収結果

エリア	調査観光地点名	回収数	合計
那須エリア	①道の駅那須高原友愛の森	276	851
	②那須ガーデンアウトレット	275	
	③アグリパル塩原	300	
日光エリア	④二社一寺（日光東照宮）	249	691
	⑤華厳の滝（県営華厳第2駐車場）	201	
	⑥東武ワールドスクエア	241	
県央エリア	⑦道の駅うつのみや ろまんちっく村	230	802
	⑧道の駅きつれがわ	297	
	⑨道の駅ばとう	275	
県東エリア	⑩道の駅「もてぎ」	304	712
	⑪陶芸メッセ・益子	164	
	⑫道の駅はが	244	
県南エリア	⑬足利学校	300	730
	⑭佐野プレミアム・アウトレット	260	
	⑮とちぎ山車会館	170	

2.調査報告書の見方

本調査では、構成比などの数値は、原則として単位未満四捨五入で表記しており、合計や積算などの計算値は、紙面上に表記された数値による計算値と一致しないことがある。

なお、件数が0件の項目については、グラフ上は非表示とする。

(1) 調査地域区分

今回の調査では、調査対象の観光地点の地域を以下のとおり区分した。

- ・観光地点調査 那須、日光、県央、県東、県南の5エリア

なお、観光地点調査の各観光地点に対する周辺地域の考え方は〈表1〉のとおり。

観光地点調査における調査地点と周辺地域の考え方

〈表1〉 調査観光地点周辺地域

観光地点 エリア	観光地点名	周辺地域の範囲
那須エリア	①道の駅那須高原友愛の森	那須町
	②那須ガーデンアウトレット	那須塩原市
	③アグリパル塩原	
日光エリア	④二社一寺（日光東照宮）	日光市
	⑤華厳の滝（県営華厳第2駐車場）	
	⑥東武ワールドスクエア	
県央エリア	⑦道の駅うつのみや ろまんちっく村	宇都宮市
	⑧道の駅きつれがわ	さくら市、高根沢町、那珂川町 那須烏山市
	⑨道の駅ばとう	那珂川町、那須烏山市
県東エリア	⑩道の駅「もてぎ」	真岡市、芳賀町、市貝町、益子町、茂木町
	⑪陶芸メッセ・益子	益子町
	⑫道の駅はが	真岡市、芳賀町、市貝町、益子町、茂木町
県南エリア	⑬足利学校	足利市
	⑭佐野プレミアム・アウトレット	佐野市
	⑮とちぎ山車会館	栃木市

(2) 集計内容

集計項目	集計方法	備考
お住まい	県全体 エリア別	回答者の住所を都道府県単位で集計し、栃木県を含む関東7都県、および福島県を表示、それ以外を「その他」として集計。
性別・年代別	県全体 エリア別	回答者の性別、および年代を集計。なお性別は男性、女性の2区分、年代は以下の5区分。 10・20代、30代、40代、50代、60代以上
栃木県での滞在時間	県全体 エリア別	栃木県内の最初の「目的地」から最終「目的地」を離れるまで時間を集計。なお区分は以下の6区分。 2時間未満 2時間以上～4時間未満 4時間以上～6時間未満 6時間以上～8時間未満 8時間以上～10時間未満 10時間以上
宿泊旅程	県全体	宿泊の種別を集計。なお区分は次の2区分。県内のみの宿泊、県外を含む宿泊。
栃木県内での宿泊日数	県全体 エリア別	今回の旅行（居住地を出てから居住地に戻るまで）の栃木県内での宿泊数を集計。なお区分は以下の5区分。 1泊、2泊、3泊、4泊、5泊以上
栃木県内での宿泊施設数	県全体	今回の旅行（居住地を出てから居住地に戻るまで）の宿泊した施設の数を集計。なお区分は以下の5区分。 1施設、2施設、3施設、4施設、5施設以上
栃木県内での利用宿泊施設	県全体	宿泊施設の種類を集計。なお区分は10区分（具体的な項目は調査票参照）。
旅行先に選んだ理由	県全体 エリア別 年代別	調査地点の周辺地域を旅行先に選んだ理由を集計。なお区分は15区分（具体的な項目は調査票参照）。 ※「エリア別」では上位5項目を表示。
同行者数	県全体 エリア別	今回の旅行の回答者を含む同行人数を集計。なお区分は以下の8区分。 1人、2人、3人、4人、5人、6～10人、11～30人、31人以上
同行者の関係	県全体 エリア別	今回の旅行の同行者の関係を集計。なお区分は8区分（具体的な項目は調査票参照）。
県外客の栃木県への来訪回数	県全体	栃木県への来訪回数を集計。なお区分は以下の5区分。 初めて、二回目、三回目、四回目、五回目以上
調査地域周辺への来訪回数	エリア別	調査地域周辺への来訪回数を集計・現在地周辺とは調査地点の「周辺地域」を指し、観光地点調査の各観光地点に対する周辺地域の考え方はP.3〈表2〉の区分のとおり。
交通機関	県全体 エリア別	今回の旅行で利用した交通機関を集計。なお区分は12区分（具体的な項目は調査票参照）。 選択肢で示した交通機関を、利用したかしないかを集計。旅程内で一度でも利用すれば集計の対象とし、二度以上使った場合も1として集計。

集計項目	集計方法	備考
立ち寄り 観光施設数	県全体 エリア別	今回の旅行での立ち寄り先（これからの予定も含む）の合計数を集計。 ここで対象としている観光施設（地点数）は栃木県作成の『観光地点等名簿に掲載の観光地点等名』を参照している。そのため栃木県外の観光地点や下記のような観光施設とみなさない場所、不明確な場所は対象外としている。 ・ 宿泊施設、実家、友人の家 ・ コンビニ、飲食店 ・ 鉄道の駅、高速道路のサービスエリア ・ 宇都宮、日光、鬼怒川、那須などの地名 なお、調査に回答した観光地点はその数には含まない。 ※調査地点以外に立ち寄りがない場合は0地点と表す。
立ち寄り 観光施設	エリア別	今回の旅行での立ち寄り先（これからの予定も含む）。上記「立ち寄り観光施設数」と同様、ここで対象としている観光施設は栃木県作成の『観光地点等名簿に掲載の観光地点等名』を参照している。
旅行先に選んだ 情報源	県全体	調査地点の周辺地域を旅行先として選んだ際の情報源を集計。なお区分は13区分（具体的な項目は調査票参照）。
旅行先を選んだ “決め手”となった 情報源	県全体 エリア別 （年代別）	調査地点の周辺地域を旅行先として選んだ際の情報源のうち“決め手”となったものを集計。なお区分は13区分（具体的な項目は調査票参照）。
消費支出（平均）	県全体 エリア別	栃木県内で消費した支出の総額およびその内訳を集計。内訳として表示する項目は以下の6項目。 県内交通費、宿泊費、土産代、飲食代、入場料、その他 なお、内訳項目のうちひとつでも記入がある場合には、それを総額とする。 県内交通費については、以下の考えかたにより集計。 回答者の回答がある場合：回答を集計。 交通費総額のみの場合：居住地・立ち寄り地より県内外の距離を算出し按分し集計。 利用駅等のみの場合：運賃等より類推し集計。
調査地域の総合満足度／再来訪意向	県全体 エリア別	総合的な満足度：調査地点の周辺地域への訪問後の総合満足度を5段階で回答。 また訪れたいか：調査地点の周辺地域への再来訪意向を5段階で回答。 ※「県全体」ではグラフの下に各項目の加重平均を表示。 加重平均：肯定意見「大いに（大変）～」を+2、「やや（ほぼ）～」を+1に、中間意見「どちらでもない」を0、否定意見「あまり（やや）～ない」を-1、「全く（大変）～ない」を-2に置き換えて算出した平均値で、+の数値で肯定的、-の数値で否定的な度合いとなる。
栃木県の魅力	県全体 エリア別	栃木県の魅力が1位だと感じるものについて集計。 ※「エリア別」では上位5項目を表示。
調査地域の総合満足度・再来訪意向	県全体 エリア別	調査地域の総合満足度と再来訪意向を加重平均値で表示。

(3) 集計対象サンプル数

調査区分	アンケート 回収状況	集計区分	
		日帰り客	宿泊客（県内）
全体	3,786	2,655	1,061
那須エリア	851	434	402
日光エリア	691	305	373
県央エリア	802	657	137
県東エリア	712	650	56
県南エリア	730	609	93

(5) 集計値の誤差について

- 集計値は小数点第2位を四捨五入とする。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- 基数となるべき実数はnとして表示した。その比率は、nを100.0%として算出した

第2章 観光客調査 調査結果

1.日帰り客

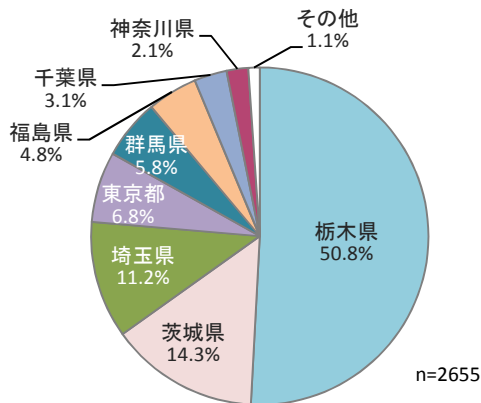
お住まい

◇「栃木県（県内居住者）」が最も多く約5割を占める。全エリアで県内居住者の割合が最も高い。

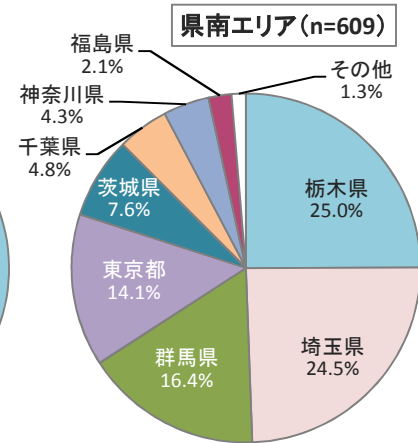
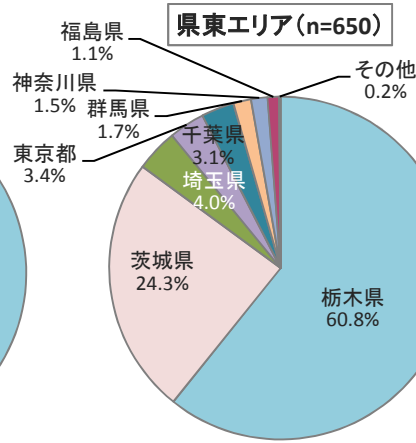
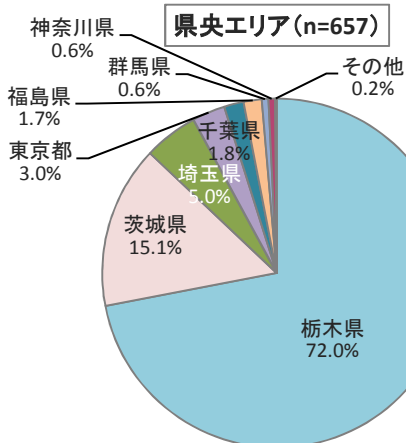
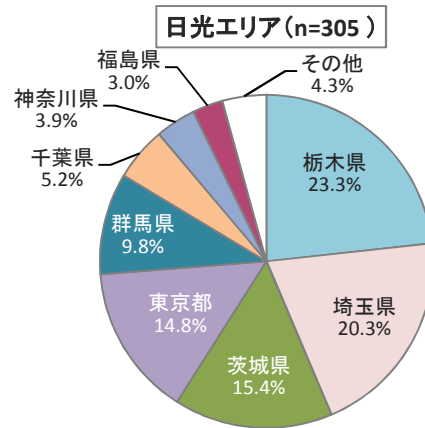
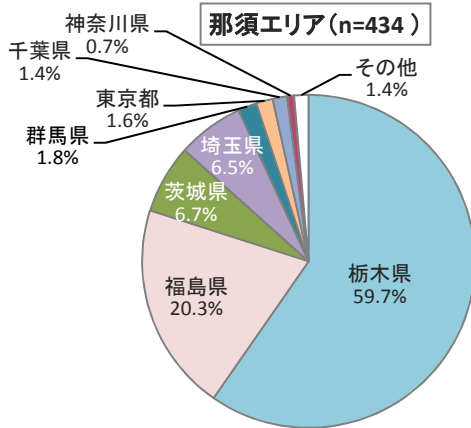
お住まいは、県全体では、「栃木県」が50.8%で最も多く、次いで「茨城県」が14.3%、「埼玉県」が11.2%であった。

エリアごとに見ると、那須、県央、県東では県内居住者が50%以上を示しているのに対し、日光、県南では県内居住者が20%台と、他のエリアに比べ県外居住者の割合が多かった。

【県全体】



【エリア別】



1. 日帰り客

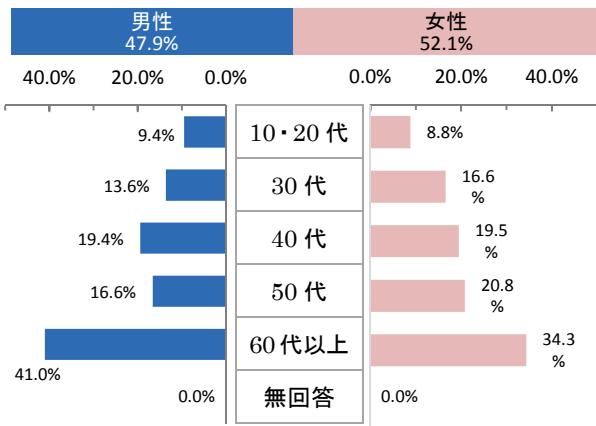
性別・年代

◇性別は、女性が5割強。性・年代別は、「男性・60代以上」が最も多く4割強、次いで「女性・60代以上」が3割半ばを占める。

性別は、「男性」が47.9%、「女性」が52.1%で、女性が男性より4.2ポイント高かった。
エリアごとに性・年代別でみると、すべてのエリアで「60代以上」が最も多かった。また、日光では「10代・20代」が他のエリアに比べて多かった。

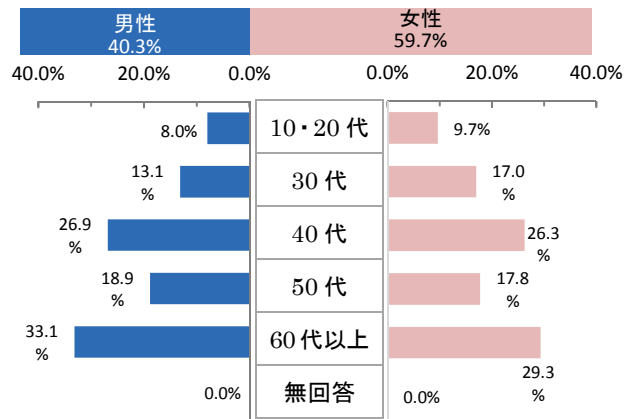
【県全体】

全体 (n=2655)



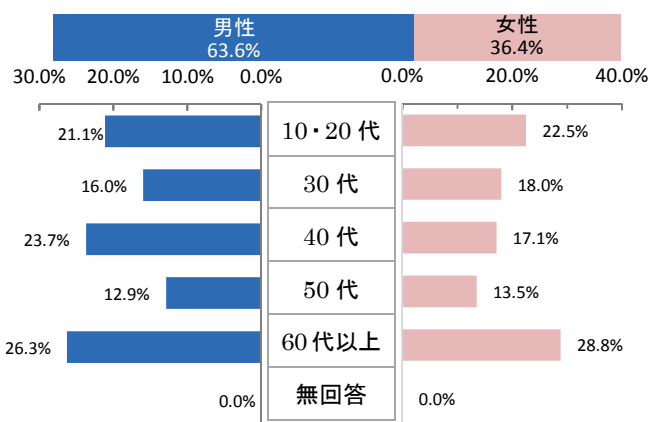
【エリア別】

那須 (n=434)

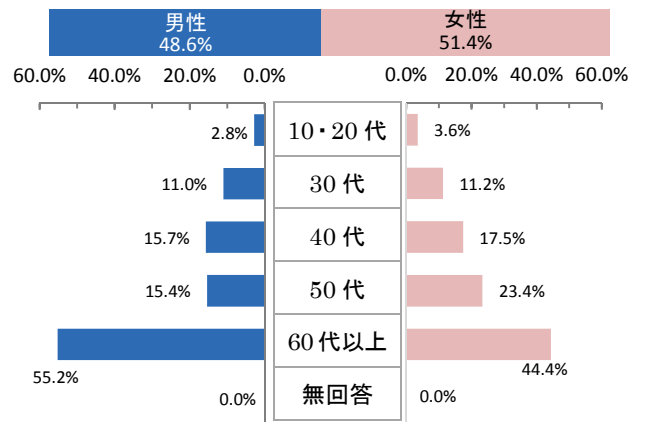


【エリア別】

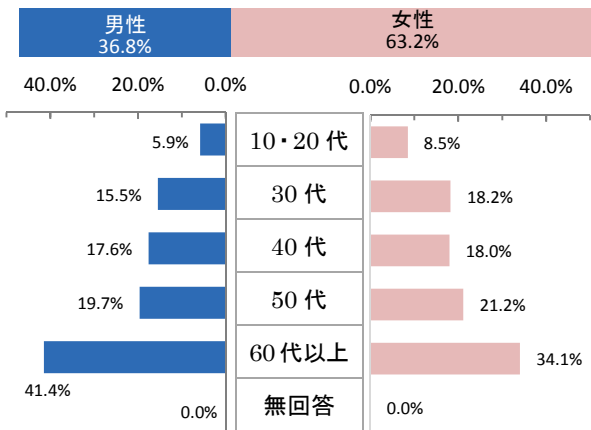
日光 (n=305)



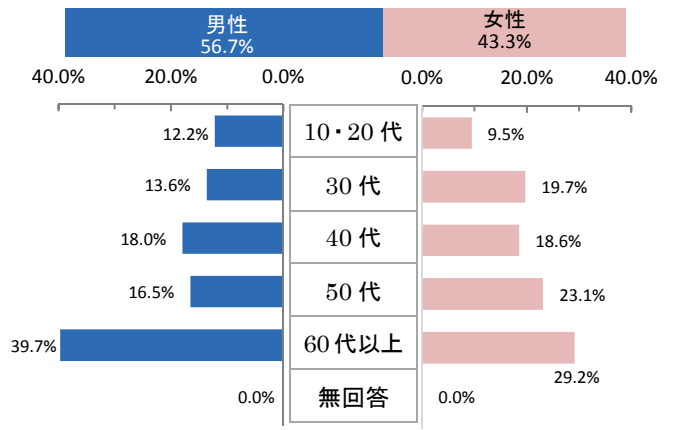
県央 (n=657)



県東 (n=650)



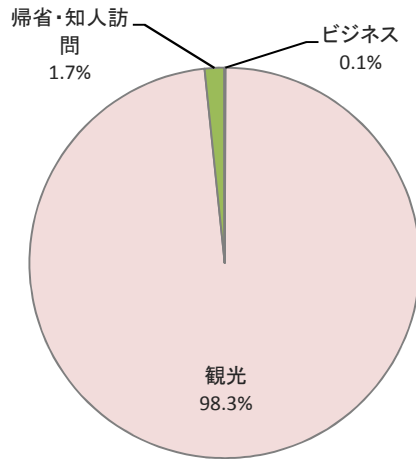
県南 (n=609)



旅行の主要目的

◇「観光」が9割を超える。

【県全体】



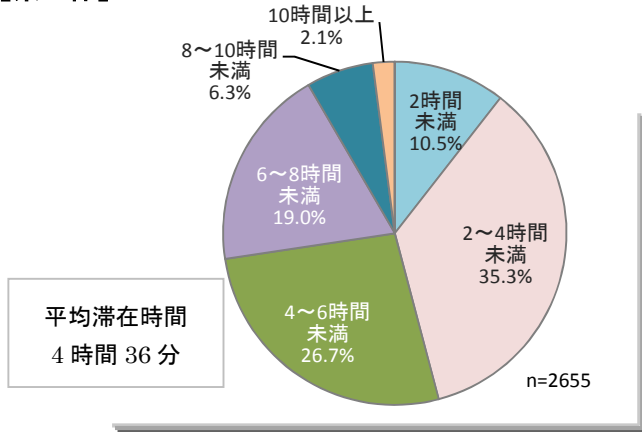
栃木県での滞在時間

◇ 「2 時間以上 4 時間未満」が最も多く 3 割を超える。平均滞在時間は 4 時間 36 分。

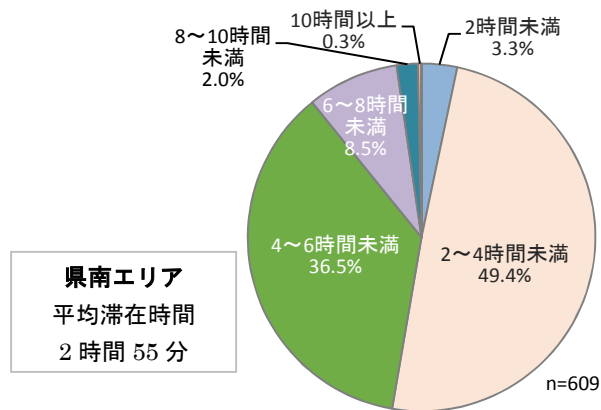
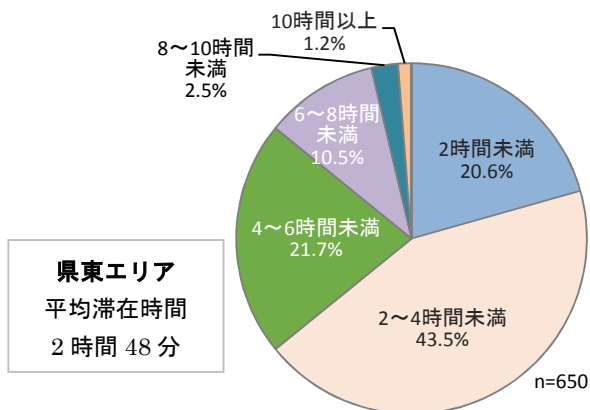
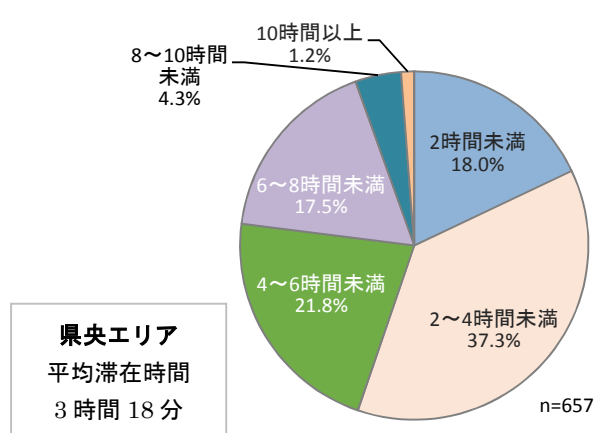
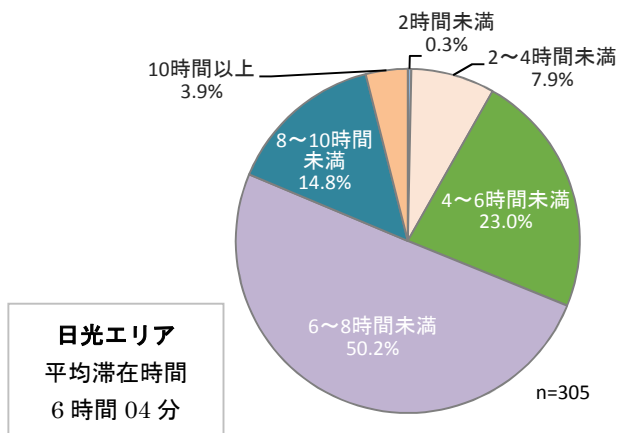
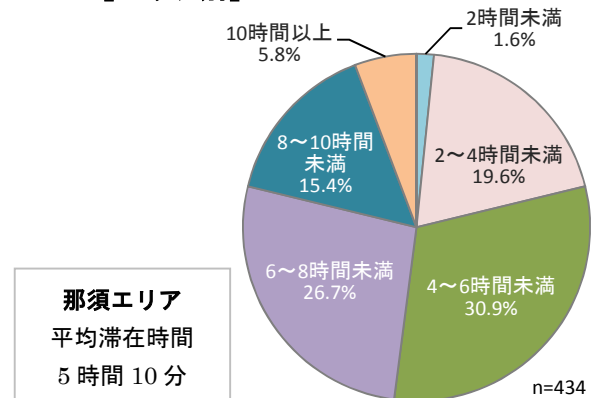
栃木県での滞在時間は、県全体では、「2 時間以上 4 時間未満」が 35.3%で最も多く、次いで「4 時間以上 6 時間未満」が 26.7%で、2 時間以上 6 時間未満で 62.0%となる。平均滞在時間は 4 時間 36 分。

エリアごとに見ると、日光が 6 時間 04 分で最も長く、県東が 2 時間 48 分で最も短かった。「2 時間未満」が県東で 20.6%と他のエリアに比べて多い。また、「6 時間以上 8 時間未満」が日光で 50.2%と他のエリアに比べて多い。

【県全体】



【エリア別】



旅行先に選んだ理由（複数回答）

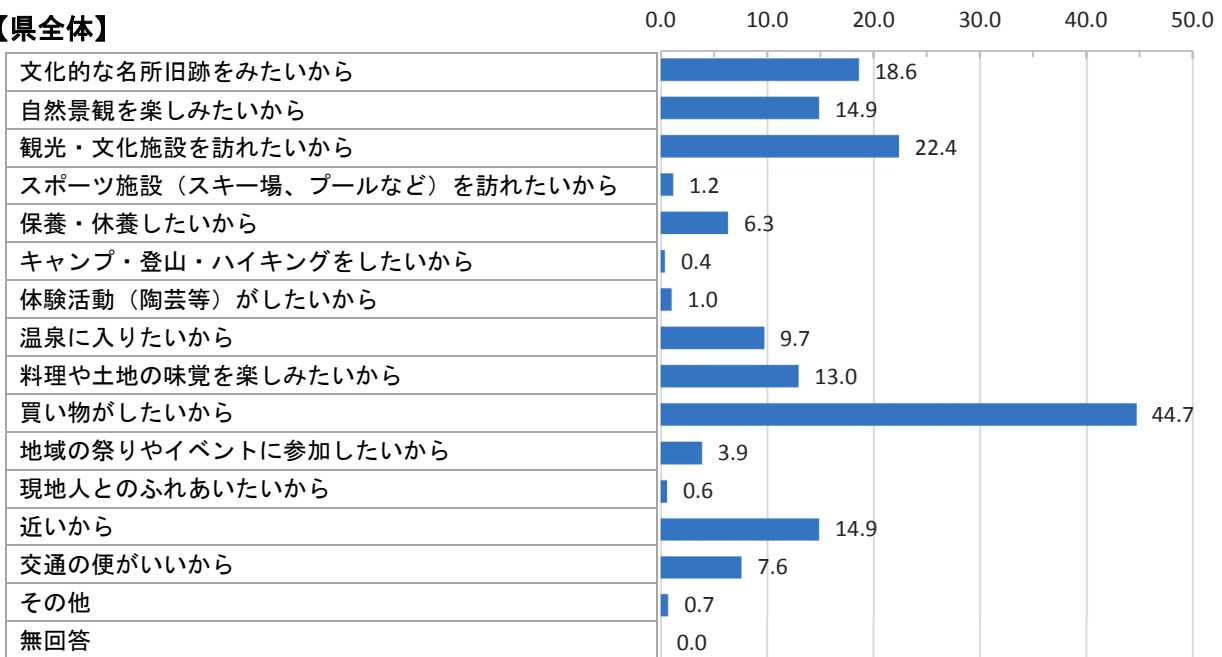
◇「買い物がしたいから」が最も多く約4割半ば。

那須、県央、県東では「買い物がしたいから」の割合が多く、日光は「観光・文化施設を訪れたいから」、県南は「文化的な名所旧跡をみたいから」の割合が多い。

旅行先に選んだ理由は、県全体では、「買い物がしたいから」が44.7%で最も多く、次いで「観光・文化施設を訪れたいから」が22.4%、「文化的な名所旧跡をみたいから」が18.6%、「自然景観を楽しみたいから」「近いから」が14.9%であった。

エリアごとに見ると、「買い物がしたいから」が那須で61.3%、県央で52.8%、県東で50.2%とそれぞれのエリアで最も多い。日光では「観光・文化施設を訪れたいから」が54.8%、県南では「文化的な名所旧跡をみたいから」が45.3%で最も多かった。

【県全体】



【エリア別】※上位5項目

NO.	全体(n=2655)	那須(n=434)	日光(n=305)
1	買い物(44.7%)	買い物(61.3%)	観光・文化施設(54.8%)
2	観光・文化施設(22.4%)	自然景観(21.7%)	名所旧跡(54.1%)
3	名所旧跡(18.6%)	近いから(16.6%)	自然景観(49.8%)
4	自然景観(14.9%)	温泉(15.0%)	保養・休養(5.6%)
5	近いから(14.9%)	保養・休養/料理や土地の味覚(13.1%)	交通の便(4.6%)

NO.	県央(n=657)	県東(n=650)	県南(n=609)
1	買い物(52.8%)	買い物(50.2%)	名所旧跡(45.3%)
2	温泉(23.6%)	料理や土地の味覚(23.2%)	買い物(40.2%)
3	近いから(15.4%)	近いから(16.3%)	観光・文化施設(31.9%)
4	観光・文化施設(12.3%)	観光・文化施設(15.7%)	近いから(17.4%)
5	料理や土地の味覚(11.6%)	地域の祭りやイベント(11.1%)	交通の便(9.4%)

※「その他」を除く

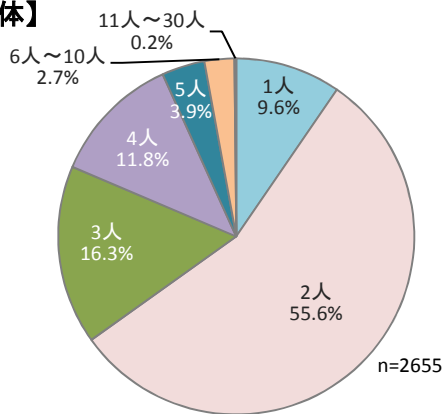
同行者数※回答者を含む

◇ 「2人」が最も多く5割を超える。すべてのエリアで「2人」が最も多い。

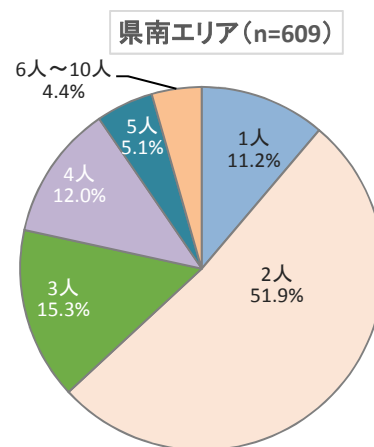
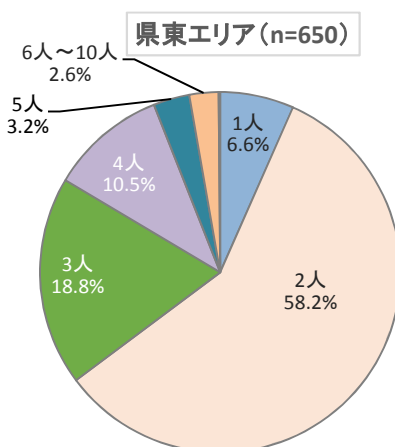
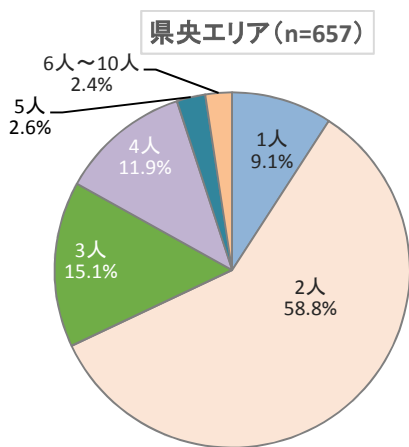
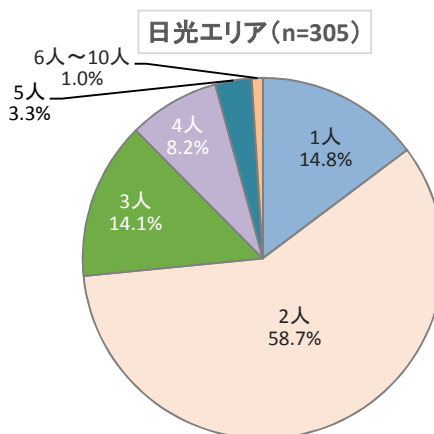
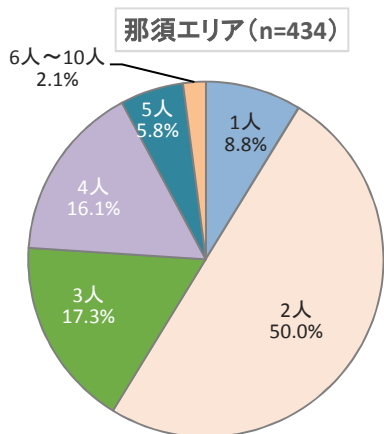
回答者を含む同行者数は、県全体では「2人」が55.6%で最も多く、次いで「3人」が16.3%、「4人」が11.8%であった。

エリアごとに見ると、すべてのエリアで「2人」が最も多く、那須で3人以上の割合が4割以上と他のエリアに比べてやや多い。

【県全体】



【エリア別】



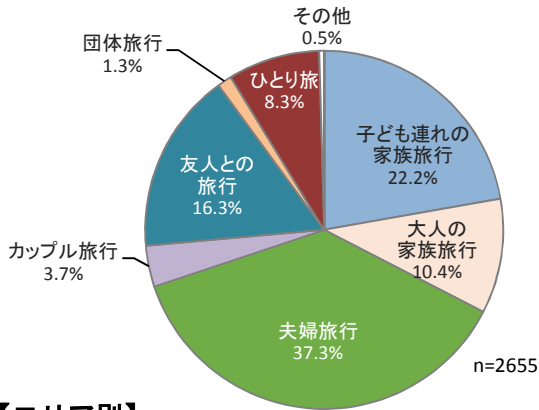
同行者の関係

◇ 「夫婦旅行」が最も多く4割弱。すべてのエリアで「夫婦旅行」の割合が最も多い。

同行者の関係は、県全体では、「夫婦旅行」が37.3%で最も多く、次いで「子ども連れの家族旅行」が22.2%、「友人との旅行」が16.3%、「大人の家族旅行」が10.4%であった。

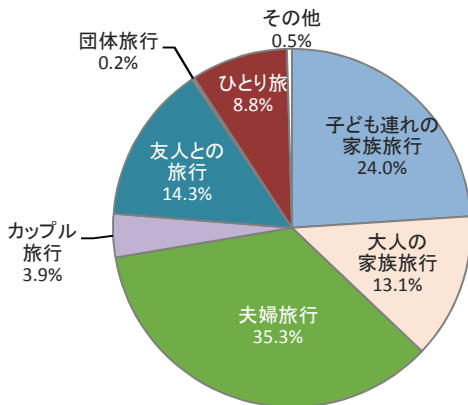
エリアごとに見ると、日光では「子ども連れの家族旅行」が9.2%と他のエリアに比べて少ない一方、「カップル旅行」が11.1%、「友人との旅行」が26.6%と多い傾向にある。

【県全体】

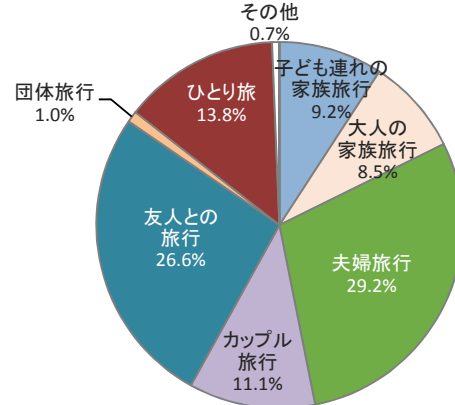


【エリア別】

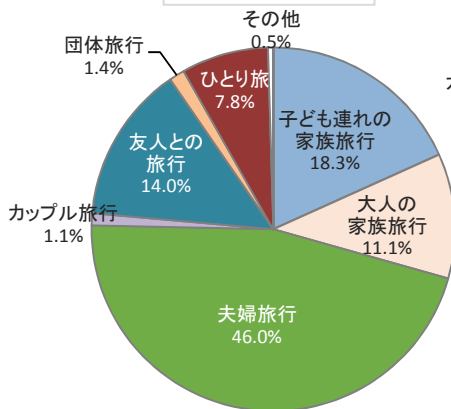
那須エリア (n=434)



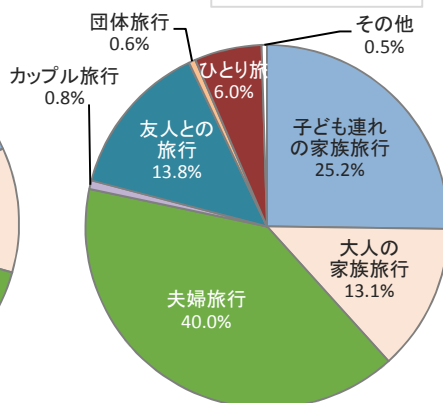
日光エリア (n=305)



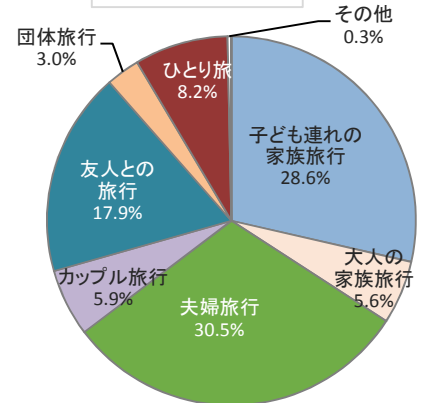
県央エリア (n=657)



県東エリア (n=650)



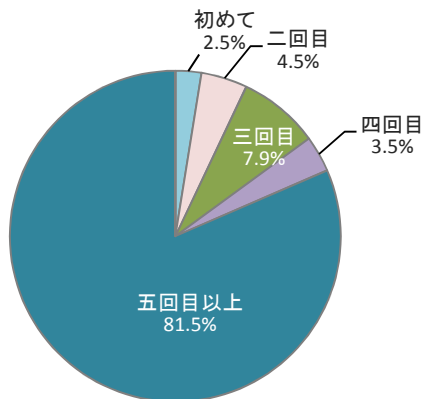
県南エリア (n=609)



県外客の栃木県への来訪回数

◇「五回目以上」が最も多く8割を超える。「初めて」は2.5%。

【県全体】



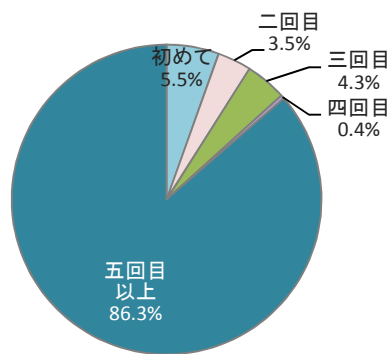
県内客の調査地域周辺への来訪回数

◇全てのエリアで「五回目以上」が最も多く、那須、県央、県東ではその割合が8割を超える。

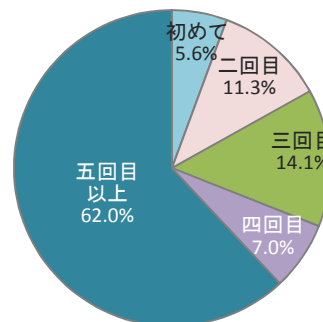
県内客の調査地域周辺への来訪回数は、全てのエリアで「五回目以上」が最も多い。中でも、那須で86.3%、県央で88.1%、県東で81.4%と多く、8割を超えた。「初めて」が県南で14.3%と他のエリアに比べて多い。

【エリア別】

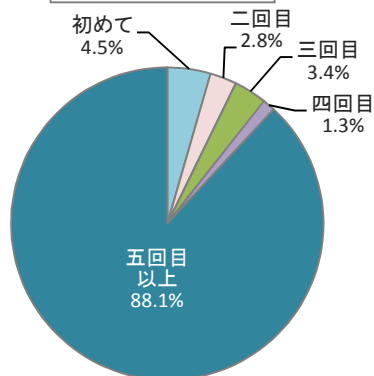
那須エリア (n=256)



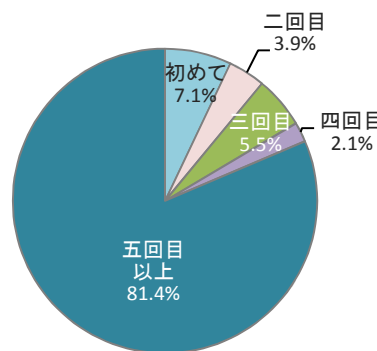
日光エリア (n=71)



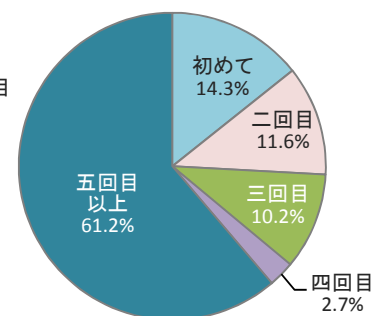
県央エリア (n=470)



県東エリア (n=382)



県南エリア (n=147)

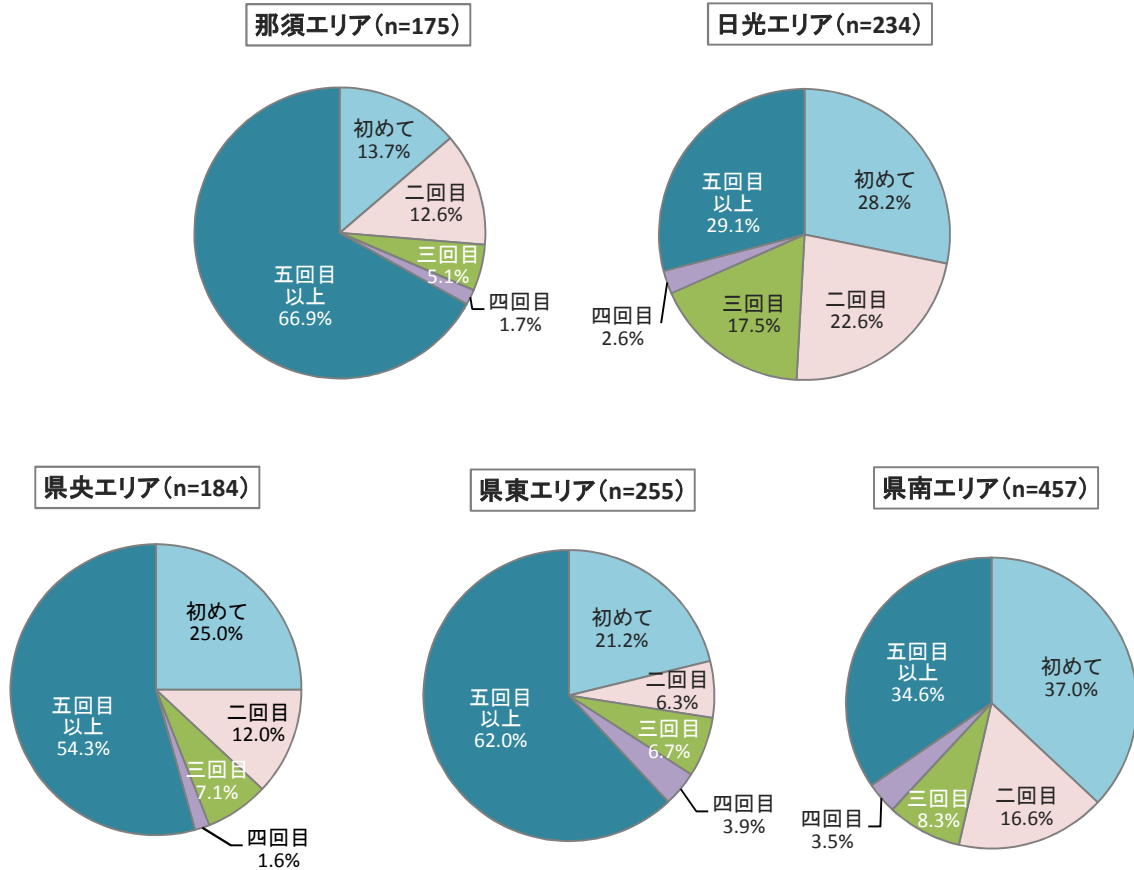


県外客の調査地域周辺への来訪回数

◇那須、日光、県央、県東で「五回目以上」が最も多い。那須、県東では6割を超える。

県外客の調査地域周辺への来訪回数は、那須、日光、県央、県東で「五回目以上」が最も多い。中でも、那須で66.9%、県東で62.0%と多く、6割を超える。「初めて」が県南で37.0%と他のエリアに比べて多い。

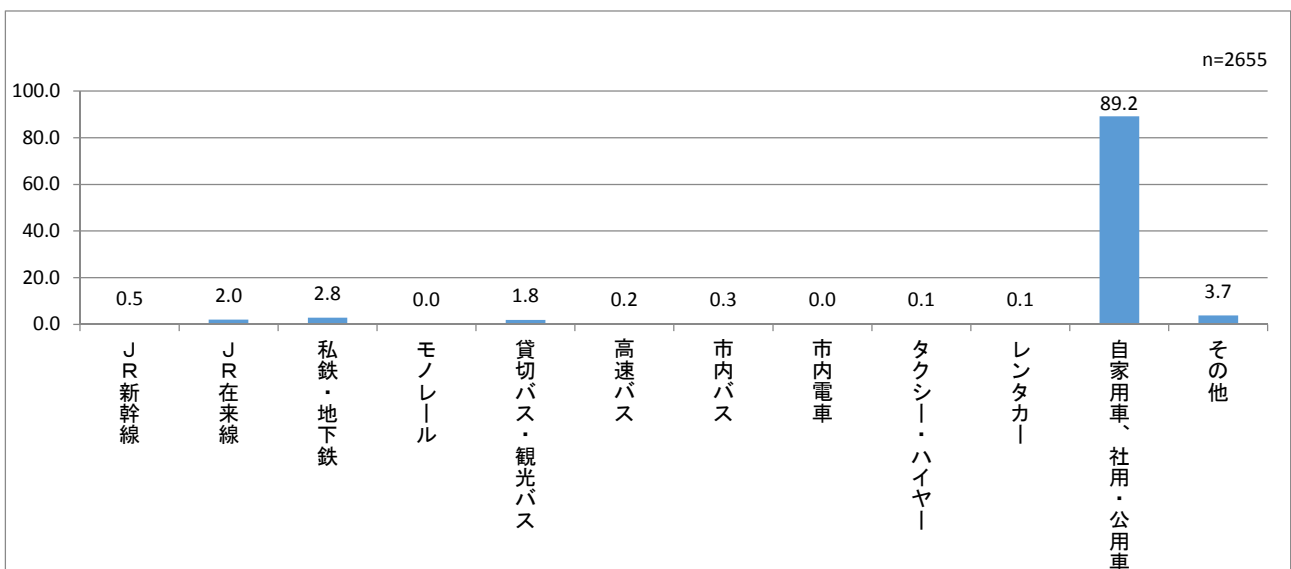
【エリア別】



利用交通機関（複数回答）

◇「自家用車、社用・公用車」が最も多く9割弱。

【県全体】



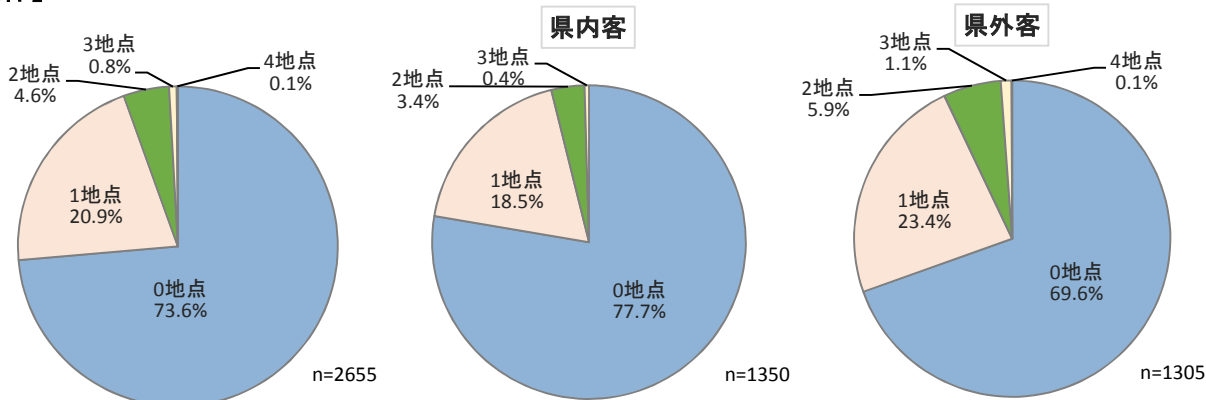
立ち寄り観光施設数

◇全てのエリアで「0地点（調査地点以外立ち寄りなし）」が最も多く、調査地点も含め、立ち寄り観光施設数は1地点～2地点で約9割を超える。

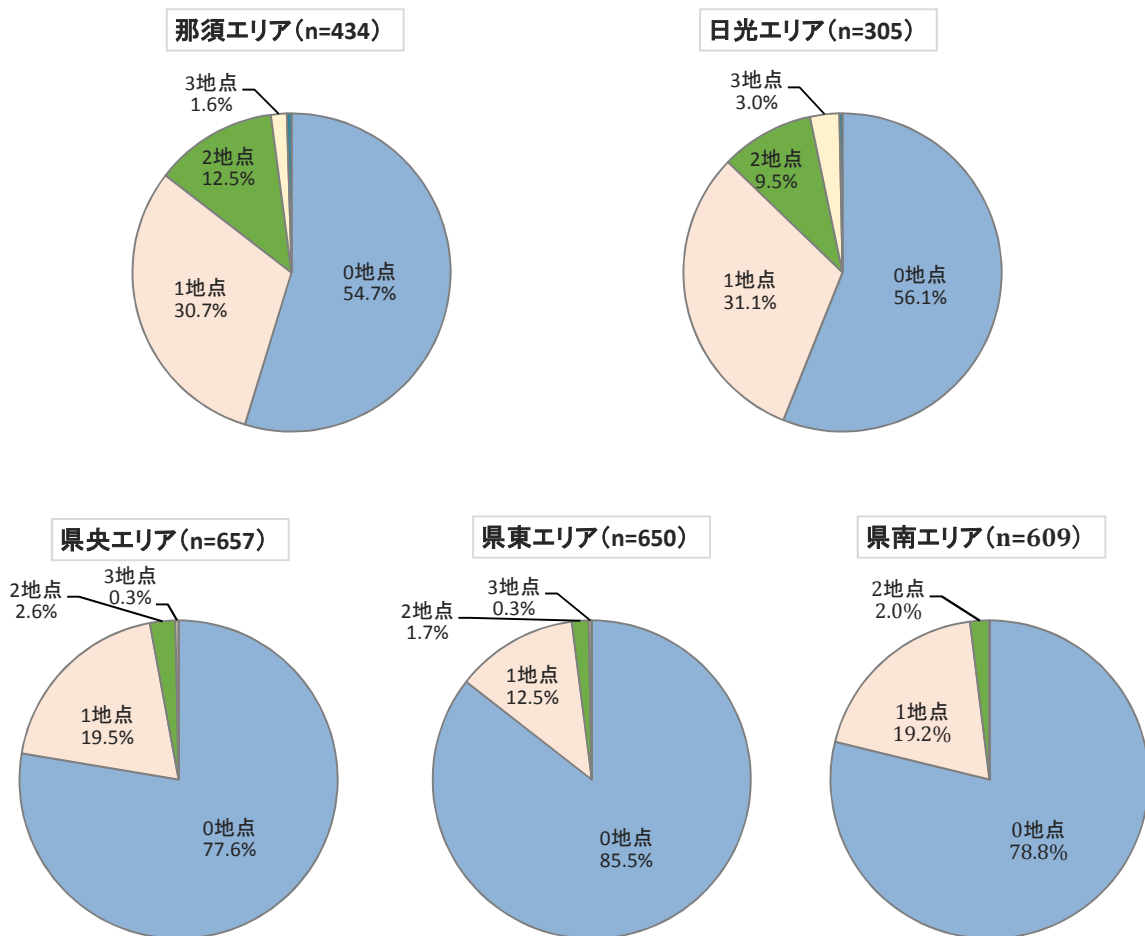
立ち寄り観光施設は、県全体では、「0地点（調査地点以外立ち寄りなし）」が73.6%で最も多く、次いで「1地点」が20.9%であった。調査地点も含め1地点～2地点で約9割を占めた。

エリアごとに見ると、すべてのエリアで「0地点（調査地点以外立ち寄りなし）」が最も多い。「1地点」が那須で30.7%、日光で31.1%と他のエリアに比べて多い。

【県全体】



【エリア別】



旅行先に選んだ情報源（複数回答）と決め手となった情報源

◇ “決め手” となった情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く約6割を超える。

旅行先に選んだ情報源は、県全体では、「以前来訪した際の自身の経験」が66.3%で最も多く、次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」が15.7%であった。

“決め手” となった情報源も、旅行先に選んだ情報源とほぼ同様の傾向で、「以前来訪した際の自身の経験」が61.9%で最も多く、次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」が10.4%であった。

【県全体】



【年代別】※ “決め手” となった情報源の上位5項目

NO.	全体 (n=2655)	NO.	10・20代 (n=242)
1	以前来訪した際の自身の経験 61.9	1	以前来訪した際の自身の経験 42.6
2	家族や友人知人からの紹介・推奨 10.4	2	家族や友人知人からの紹介・推奨 16.1
3	特に理由はないが、なんとなく 6.0	3	テレビや映画での紹介、ロケ地情報 9.9
4	個人のブログやインターネット掲示板 4.6	4	特に理由はないが、なんとなく 8.3
5	テレビや映画での紹介、ロケ地情報 4.1	5	個人のブログやインターネット掲示板 6.2

NO.	30代 (n=402)	NO.	40代 (n=516)
1	以前来訪した際の自身の経験 56.2	1	以前来訪した際の自身の経験 60.3
2	家族や友人知人からの紹介・推奨 12.4	2	家族や友人知人からの紹介・推奨 10.3
3	個人のブログやインターネット掲示板 7.5	3	特に理由はないが、なんとなく 7.0
4	特に理由はないが、なんとなく 5.5	4	個人のブログやインターネット掲示板 6.0
5	地域や施設の公式 Web サイトの情報 4.7	5	その他の Web サイトの情報 4.1

NO.	50代 (n=499)	NO.	60代 (n=996)
1	以前来訪した際の自身の経験 63.9	1	以前来訪した際の自身の経験 68.8
2	家族や友人知人からの紹介・推奨 9.8	2	家族や友人知人からの紹介・推奨 8.5
3	個人のブログやインターネット掲示板 5.6	3	特に理由はないが、なんとなく 6.1
4	旅行雑誌・ガイドブックの記事 4.6	4	テレビや映画での紹介、ロケ地情報 3.8
5	特に理由はないが、なんとなく 4.2	5	旅行雑誌・ガイドブックの記事 3.3

消費支出（平均）

◇日帰り客一人当たりの消費支出の平均は、総額で6,044円。

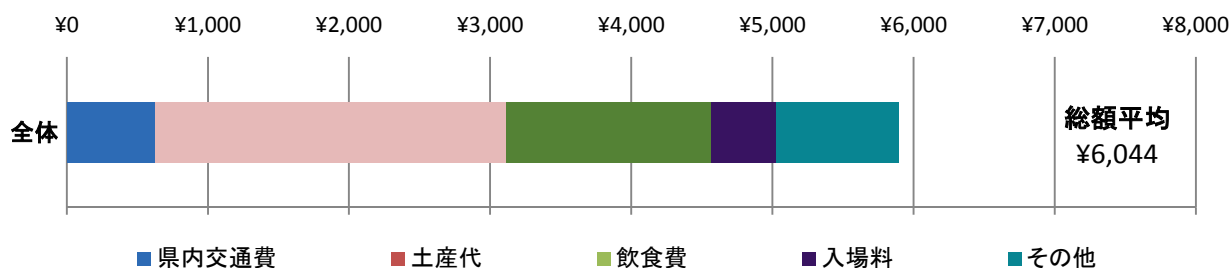
県南で消費支出の総額が高い。

日帰り客一人当たりの消費支出の平均は、県全体では、総額で6,044円。
内訳は、「土産代」が2,486円で最も高く、次いで「飲食費」が1,449円であった。

エリアごとに見ると、消費支出は、総額が県南で8,883円と他のエリアに比べて高い。

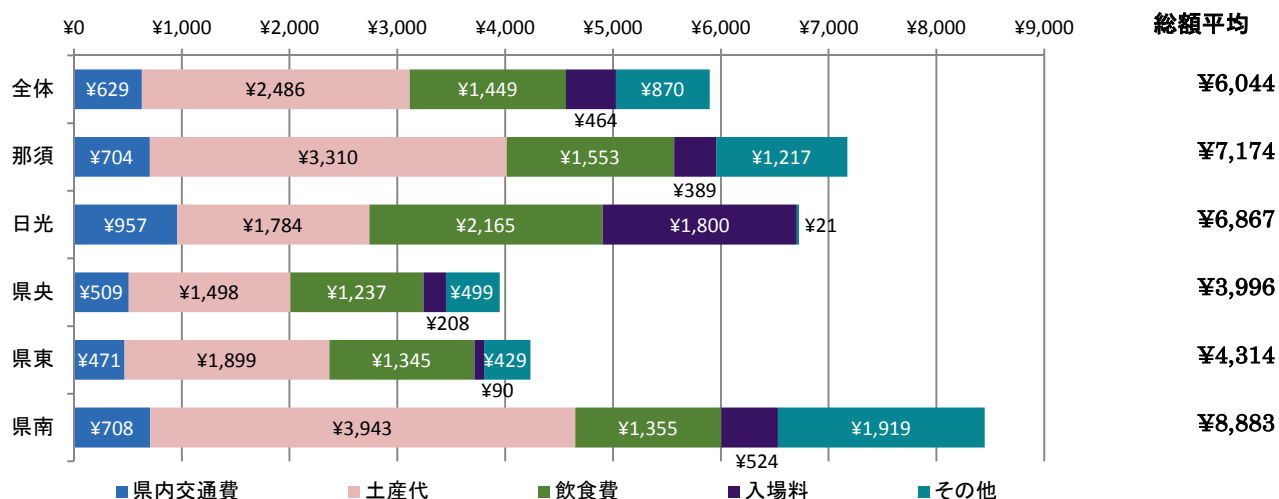
内訳は、「入場料」が日光で1,800円と他のエリアに比べて高い。「土産代」が那須で3,310円、
県南で3,943円と他のエリアに比べて高い。

【県全体】



消費支出額 (n=2655)	県内交通費 (n=2655)	土産代 (n=2655)	飲食費 (n=2655)	入場料 (n=2655)
¥6,044	¥629	¥2,486	¥1,449	¥464

【エリア別】

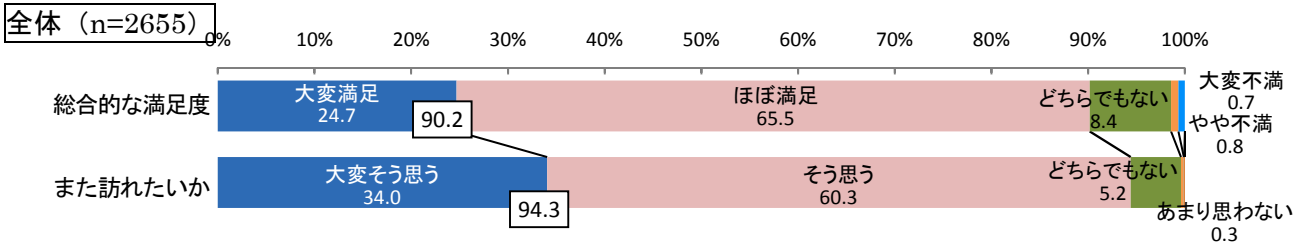


調査地域の総合満足度／再来訪意向

◇総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせて約9割。

県全体では、調査地域への総合的な満足度は「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせて90.2%であった。また訪れたいかは「大変そう思う」と「そう思う」をあわせて94.3%と9割を超える。
 エリアごとに見ると、総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が、すべてのエリアで8割を超える。また訪れたいかは「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が、すべてのエリアで9割を超えた。

【県全体】



【加重平均値】

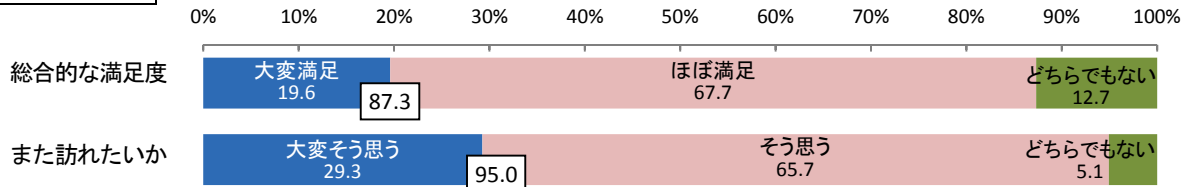
総合的な満足度	また訪れたいか
1.13	1.28

加重平均：肯定意見「大いに（大変）～」を+2、「やや（ほぼ）～」を+1に、中間意見「どちらでもない」を0、否定意見「あまり（やや）～ない」を-1、「全く（大変）～ない」を-2に置き換えて算出した平均値で、+の数値で肯定的、-の数値で否定的な度合いとなる。

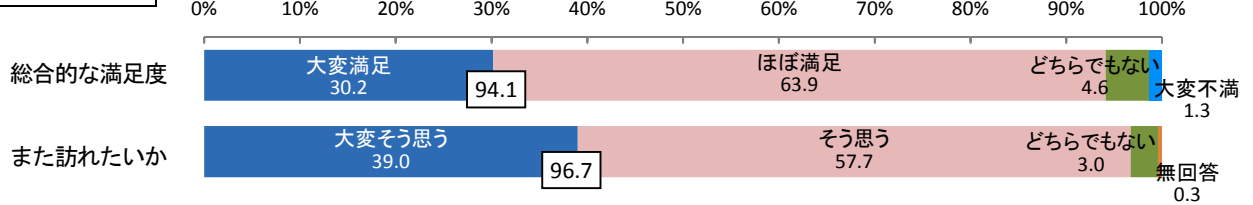
【エリア別】

※口内の数字は、「大変満足」と「ほぼ満足」または「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた数。

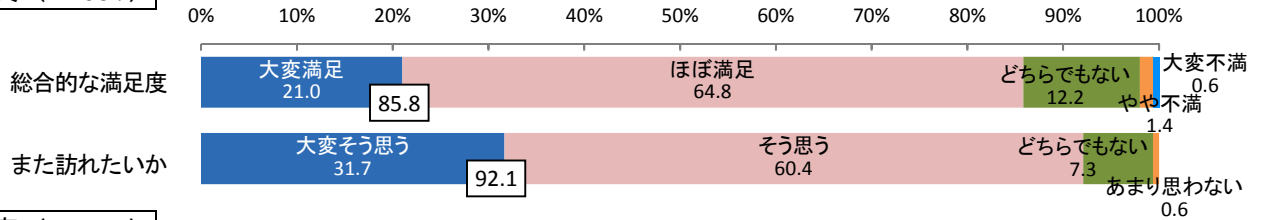
那須 (n=434)



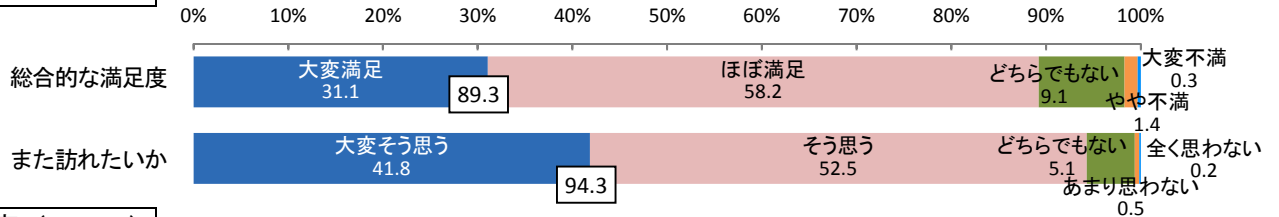
日光 (n=305)



県央 (n=657)



県東 (n=650)



県南 (n=609)



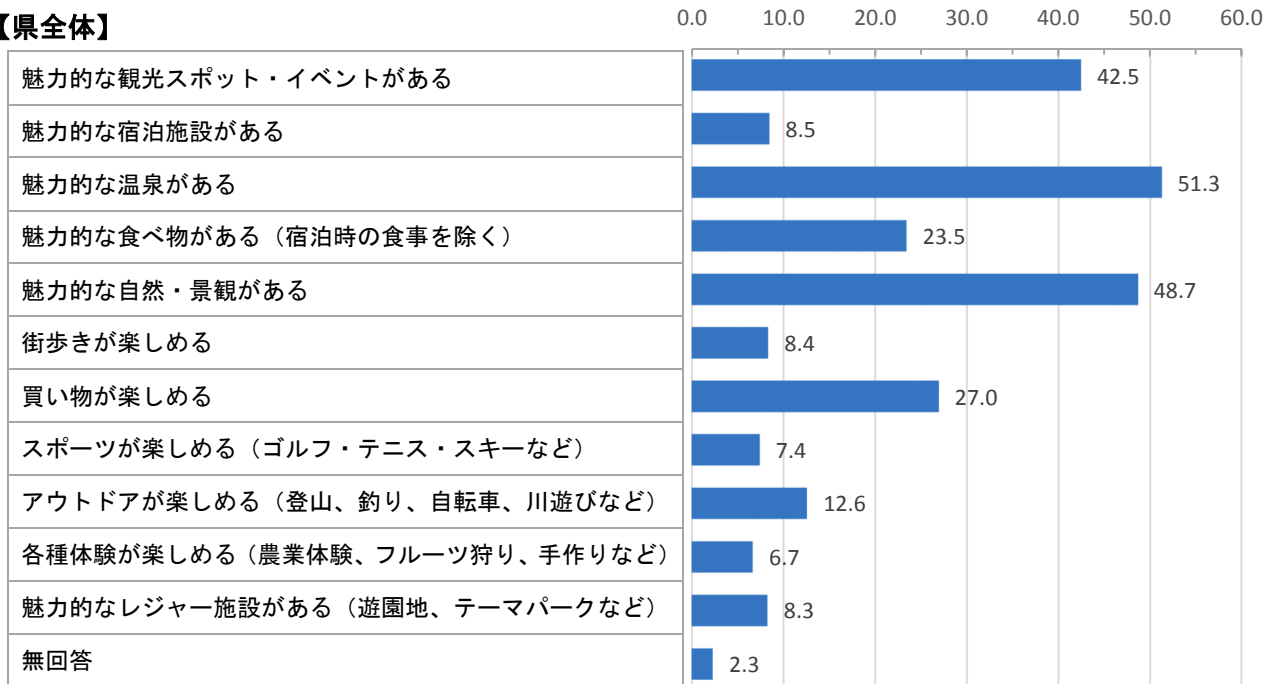
栃木県の魅力が1位だと感じるもの

◇「魅力的な温泉がある」が最も多く5割を超える。

栃木県の魅力が1位だと感じるものについて、県全体では、「魅力的な温泉がある」が51.3%で最も多く、次いで「魅力的な自然・景観がある」が48.7%、「魅力的な観光スポット・イベントがある」が42.5%であった。

エリアごとに見ると、「魅力的な温泉がある」が那須で52.5%、県央で59.2%とそれぞれのエリアで最も多い。また、「魅力的な自然・景観がある」が日光で65.6%、県東で55.4%とそれぞれのエリアで最も多く、「魅力的な観光スポット・イベントがある」が県南で59.8%と最も多かった。

【県全体】



【エリア別】※上位5項目

NO.	全体(n=2655)	那須(n=434)	日光(n=305)
1	温泉(51.3%)	温泉(52.5%)	自然・景観(65.6%)
2	自然・景観(48.7%)	自然・景観(35.5%)	観光スポット・イベント(53.8%)
3	観光スポット・イベント(42.5%)	買い物(35%)	温泉(39%)
4	買い物(27.0%)	観光スポット・イベント(25.8%)	食べ物(6.9%)
5	食べ物(23.5%)	食べ物(18.7%)	レジャー施設(4.9%)

NO.	県央(n=657)	県東(n=650)	県南(n=609)
1	温泉(59.2%)	自然・景観(55.4%)	観光スポット・イベント(59.8%)
2	自然・景観(45.4%)	温泉(52.5%)	温泉(46.8%)
3	観光スポット・イベント(31.7%)	観光スポット・イベント(43.1%)	自然・景観(46.1%)
4	買い物(25%)	食べ物(32.3%)	買い物(39.4%)
5	食べ物(19.9%)	買い物(23.7%)	食べ物(29.6%)

選択肢

- | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 魅力的な観光スポット・イベントを見たいから | 2. 魅力的な宿泊施設がある |
| 3. 魅力的な温泉がある | 4. 魅力的な食べ物がある（宿泊時の食事を除く） |
| 5. 魅力的な自然・景観がある | 6. 街歩きが楽しめる |
| 7. 買い物が楽しめる | 8. スポーツが楽しめる（ゴルフ、テニス、スキーなど） |
| 9. アウトドアが楽しめる
（登山、釣り、自転車、川遊びなど） | 10. 各種体験が楽しめる
（農業体験、フルーツ狩り、手作りなど） |
| 11. 魅力的なレジャー施設がある
（遊園地、テーマパークなど） | |

2. 宿泊客

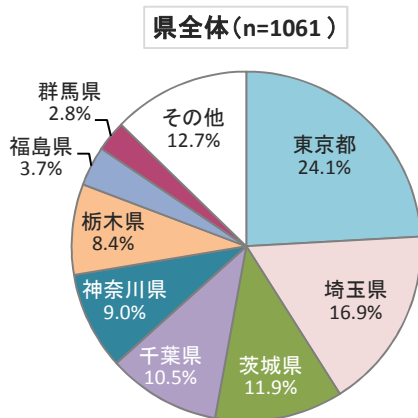
お住まい

◇「東京都」が最も多く2割半ば。次いで「埼玉県」。

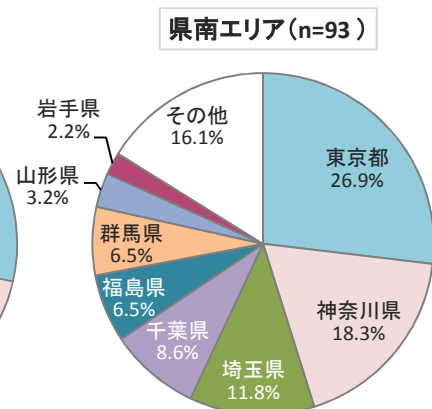
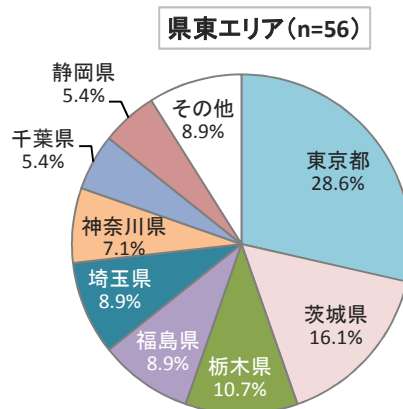
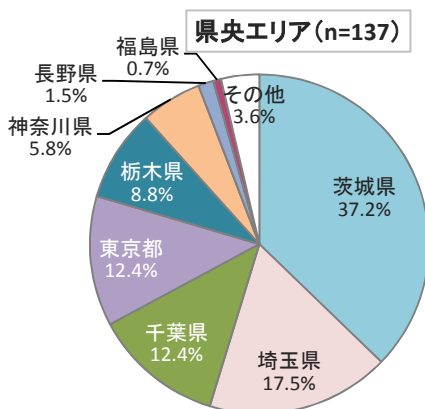
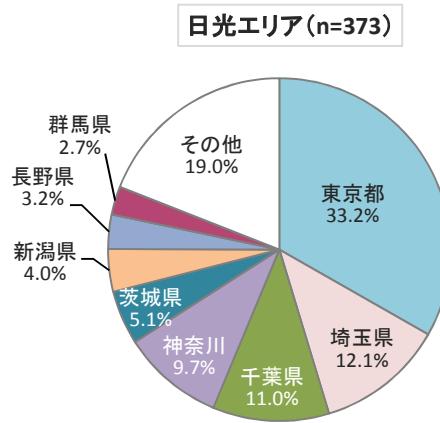
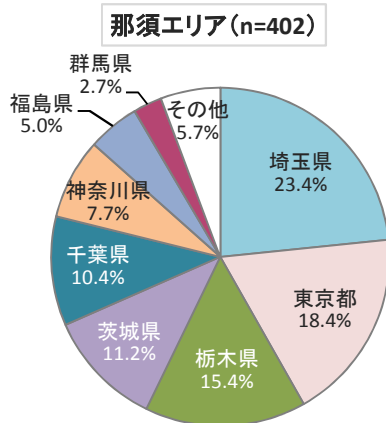
お住まいは、県全体では「東京都」が24.1%で最も多く、次いで「埼玉県」が16.9%、「茨城県」が11.9%であった。

エリアごとに見ると、日光、県東、県南で「東京都」が最も多い。また、那須では県内居住者が15.4%で他のエリアに比べて多かった。

【県全体】



【エリア別】



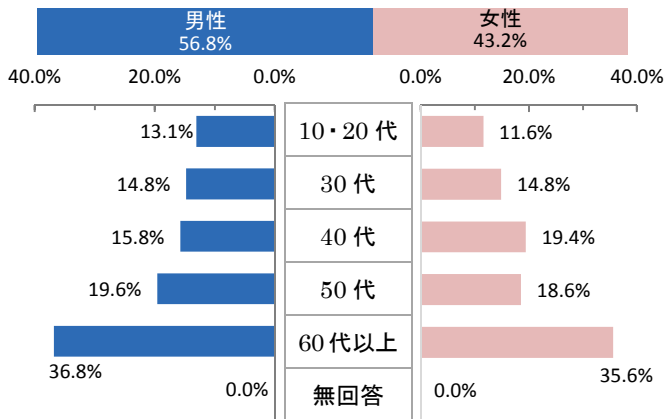
性別・年代

◇性別は、男性が5割半ば。性・年代別は、「男性・60代以上」「女性・60代以上」がそれぞれ3割半ばを占める。

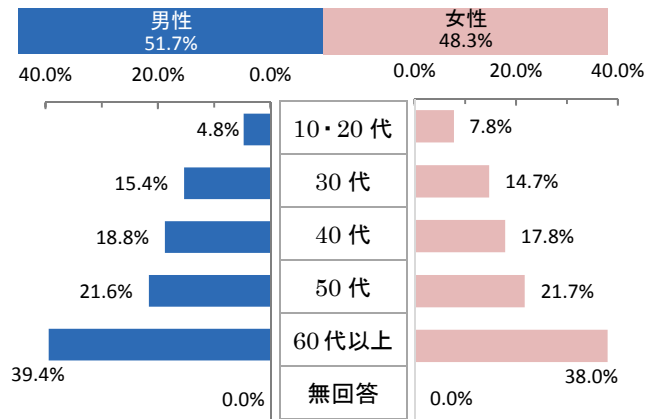
性別は、「男性」が56.8%、「女性」が43.2%で、男性が女性より13.6ポイント高かった。
 年代は、男性では「60代以上」が36.8%で最も多く、女性では「60代以上」が35.6%で最も多かった。
 エリアごとに性・年代別でみると、日光を除く4エリアで「60代以上」が最も多かった。日光では「10代・20代」が他のエリアに比べて多かった。

【県全体】

全体 (n=1061)

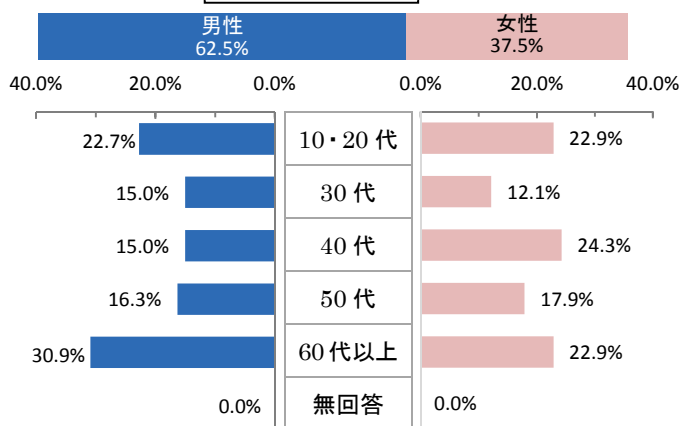


那須 (n=402)

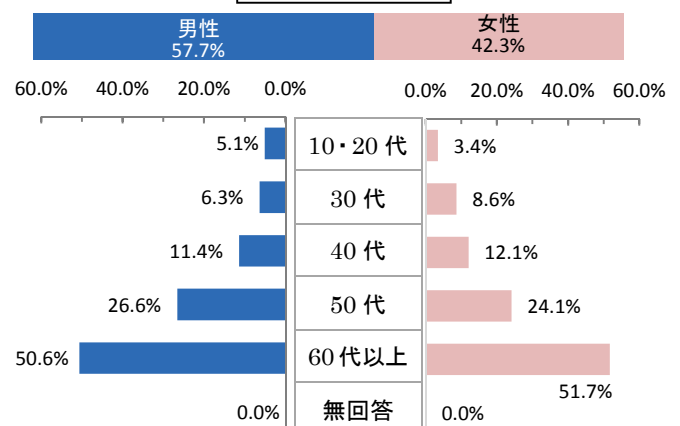


【エリア別】

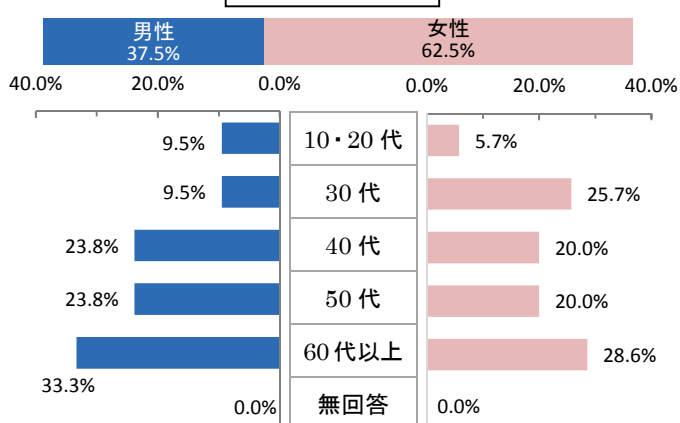
日光 (n=373)



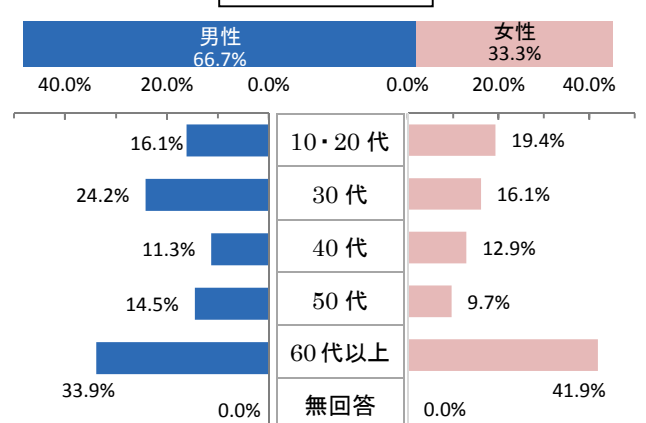
県央 (n=137)



県東 (n=56)



県南 (n=93)

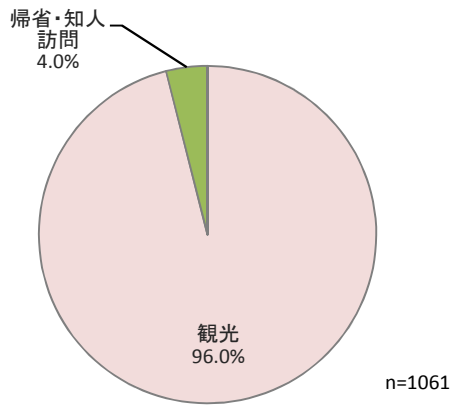


旅行の主要目的

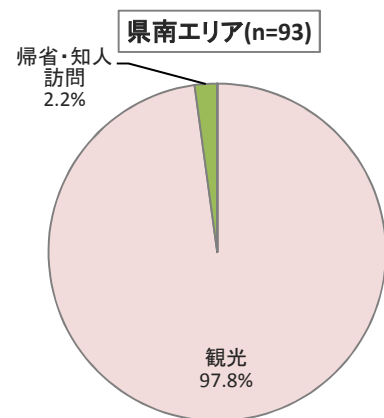
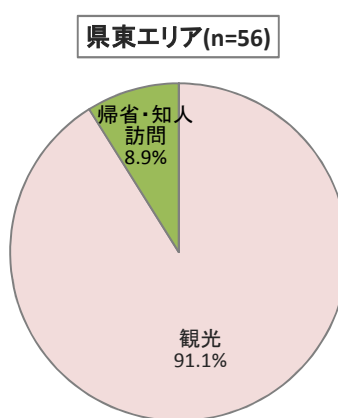
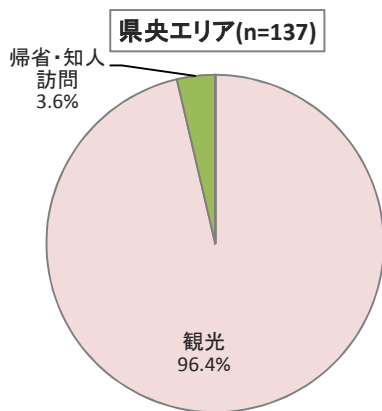
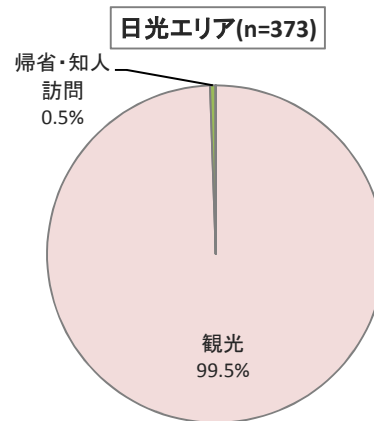
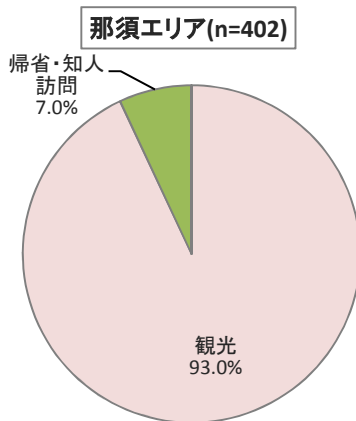
◇「観光」が9割を超える。

旅行の主要目的は、県全体では、「観光」が96.0%と9割を超えた。
エリアごとに見ても、すべてのエリアで「観光」が9割以上を占める。

【県全体】



【エリア別】

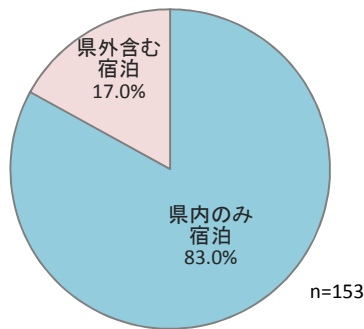


2. 宿泊客

宿泊旅程

◇ 「県内のみ宿泊」が8割を超える。

【県全体】

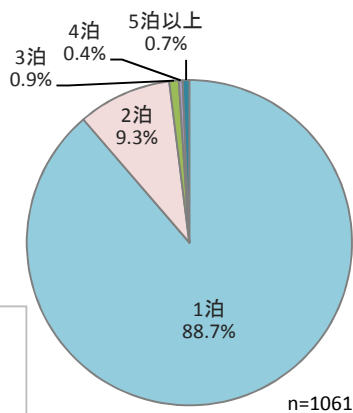


※今回の旅行の宿泊日数（県内に限らない）が2泊以上の方のみ集計

栃木県内での宿泊日数

◇ 「1泊」が8割を超える。

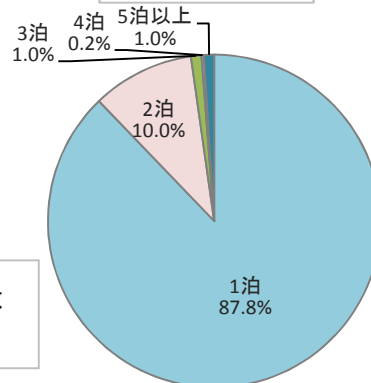
【県全体】



平均宿泊日数
1.17泊

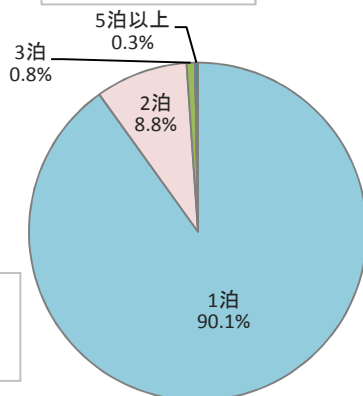
【エリア別】

那須エリア(n=402)



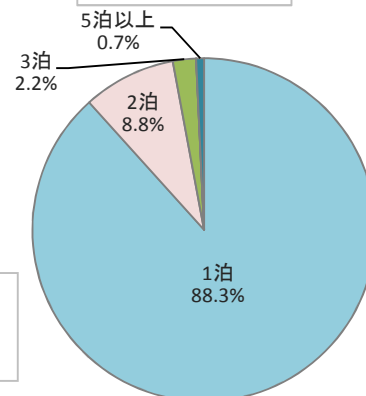
平均宿泊日数
1.21泊

日光エリア(n=373)



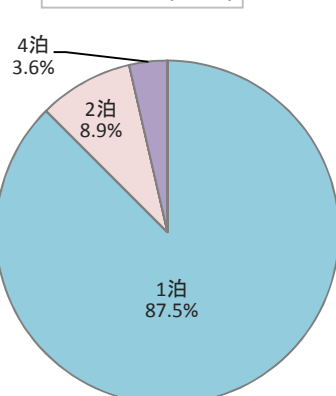
平均宿泊日数
1.12泊

県央エリア(n=137)



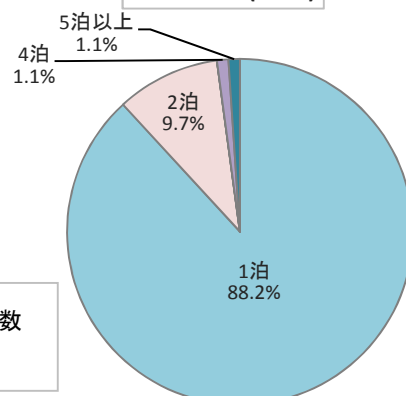
平均宿泊日数
1.17泊

県東エリア(n=56)



平均宿泊日数
1.20泊

県南エリア(n=93)

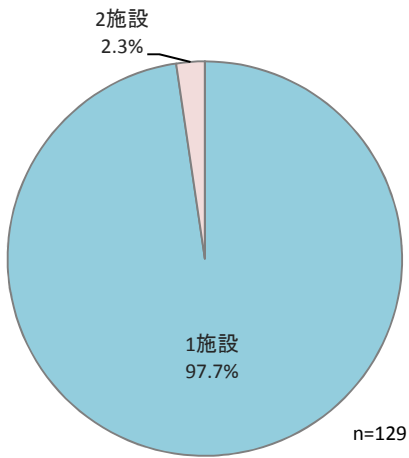


平均宿泊日数
1.18泊

栃木県内の宿泊施設数

◇2泊以上した方の宿泊施設数は、「1施設」が97.7%。

【県全体】



※県内に2泊以上の方のみ集計



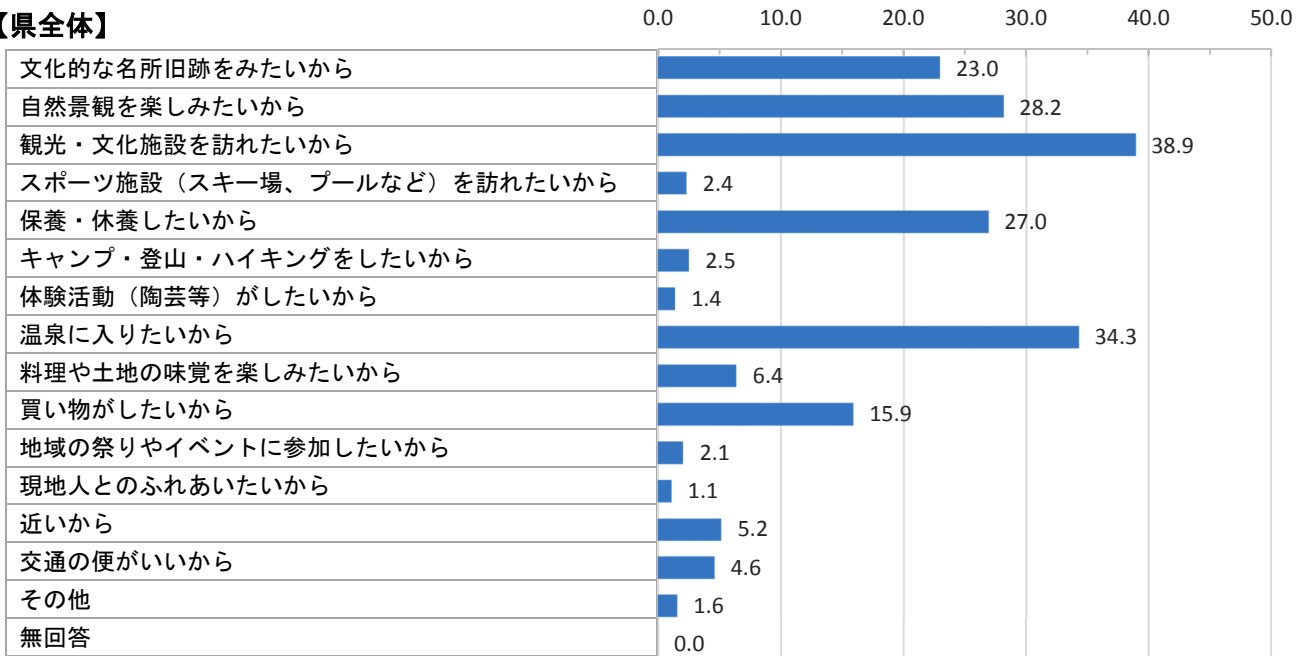
旅行先に選んだ理由（複数回答）

◇「観光・文化施設を訪れたいから」が最も多く4割弱。那須、県央では「温泉」が第1位。

旅行先に選んだ理由は、県全体では、「観光・文化施設を訪れたいから」が38.9%で最も多く、次いで「温泉に入りたいから」が34.3%、「自然景観を楽しみたいから」が28.2%であった。

エリアごとに見ると、那須、県央では「温泉」、日光では「観光・文化施設」、県東では「買い物」、県南では「名所旧跡」がそれぞれ第1位となっている。

【県全体】



【エリア別】 ※上位5項目

NO.	全体(n=1061)	那須(n=402)	日光(n=373)
1	観光・文化施設(38.9%)	温泉(41.8%)	観光・文化施設(60.3%)
2	温泉(34.3%)	保養・休養(37.6%)	名所旧跡(42.1%)
3	自然景観(28.2%)	買い物(24.1%)	自然景観(42.1%)
4	保養・休養(27.0%)	自然景観(22.6%)	温泉(29.0%)
5	名所旧跡(23.0%)	観光・文化施設(21.4%)	保養・休養(18.5%)

NO.	県央(n=137)	県東(n=56)	県南(n=93)
1	温泉(49.6%)	買い物(33.9%)	名所旧跡(69.9%)
2	保養・休養(38.7%)	観光・文化施設(28.6%)	観光・文化施設(54.8%)
3	観光・文化施設(25.5%)	温泉(26.8%)	買い物(21.5%)
4	買い物(21.2%)	料理や土地の味覚(26.8%)	料理や土地の味覚(16.1%)
5	自然景観(20.4%)	自然景観(21.4%)	自然景観(11.8%)

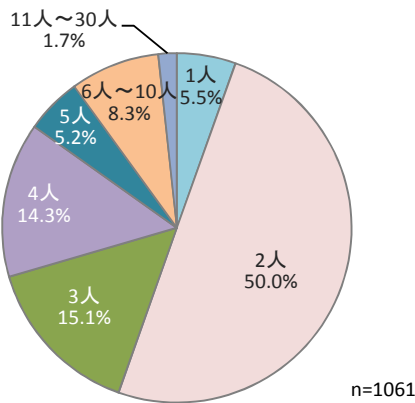
※「その他」を除く

同行者数※回答者を含む

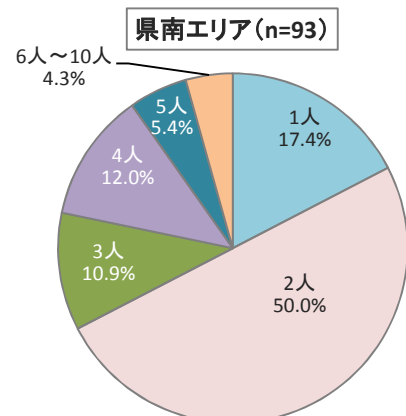
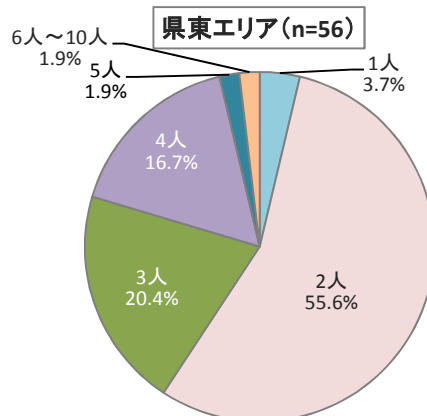
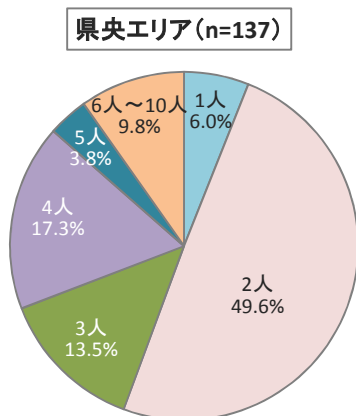
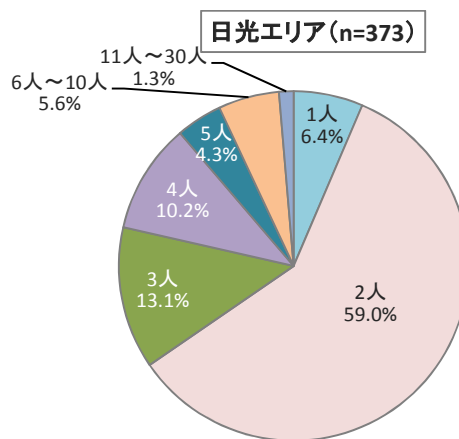
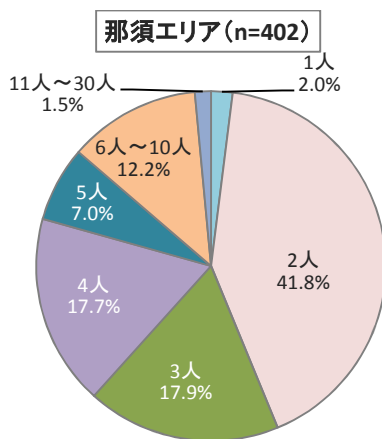
◇ 「2人」が最も多く5割。すべてのエリアで「2人」が最も多い。

回答者を含む同行者数は、県全体では「2人」が50.0%で最も多く、次いで「3人」が15.1%、「4人」が14.3%であった。
 エリアごとに見ると、すべてのエリアで「2人」が最も多く、那須で「6人～10人」が12.2%、
 県南で「1人」が17.4%と他のエリアに比べてやや多い。

【県全体】



【エリア別】



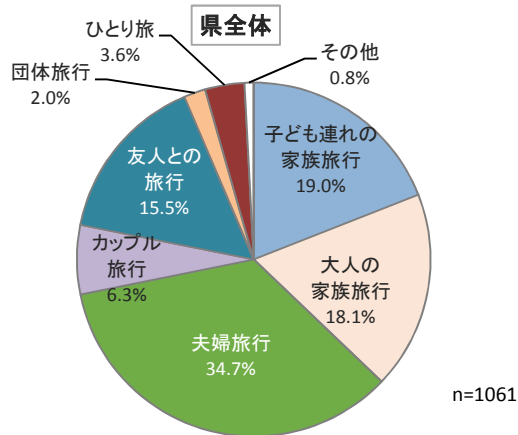
同行者の関係

◇「夫婦旅行」が最も多く3割半ば。すべてのエリアで「夫婦旅行」の割合が最も多い。県南では「ひとり旅」の割合が他のエリアに比べて多い。

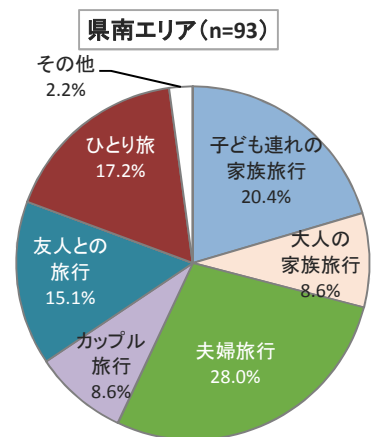
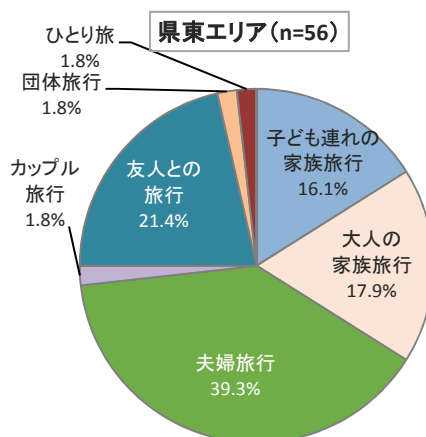
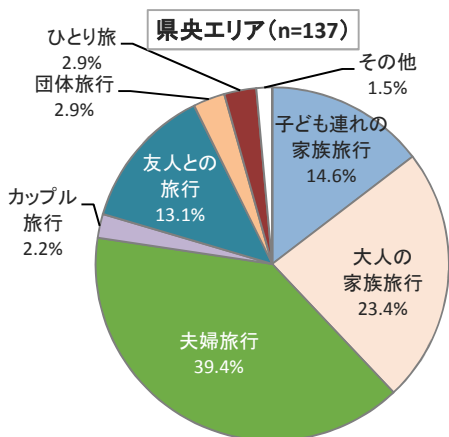
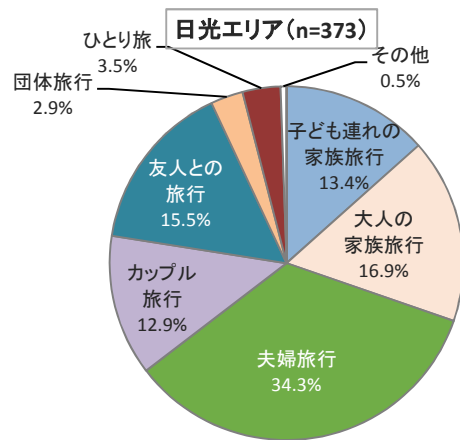
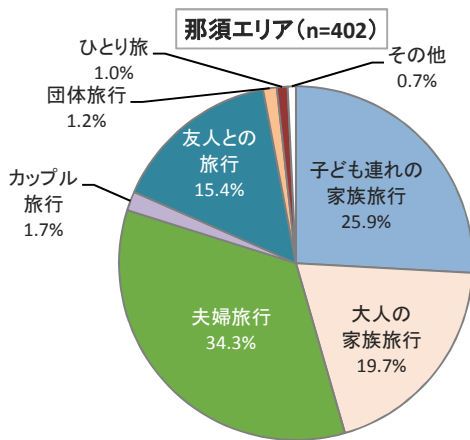
同行者の関係は、県全体では、「夫婦旅行」が34.7%で最も多く、次いで「子ども連れの家族旅行」が19.0%、「大人の家族旅行」が18.1%、「友人との旅行」が15.5%であった。

エリアごとに見ると、「夫婦旅行」が那須、日光で34.3%、県央で39.4%、県東で39.3%、県南で28.0%とすべてのエリアで最も多い。県南では「ひとり旅」が17.2%と他のエリアに比べて多い。

【県全体】



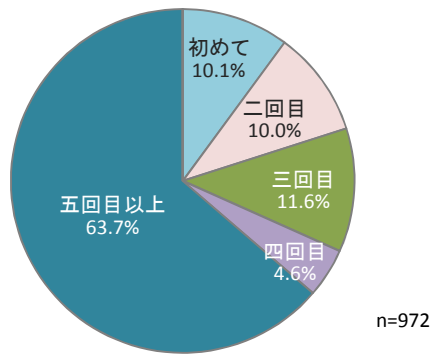
【エリア別】



県外客の栃木県への来訪回数

◇「五回目以上」が最も多く6割を超える。「初めて」は10.1%。

【県全体】



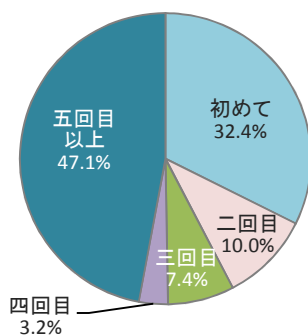
県外客の調査地域周辺への来訪回数

◇那須、県央では「五回目以上」が最も多く5割弱。日光、県東、県南では「初めて」が最も多い。

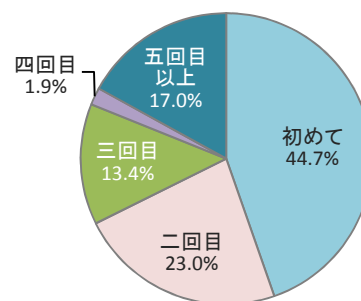
県外客の調査地域周辺への来訪回数は、那須、県央では「五回目以上」が5割弱と最も多く、リピーターが多くを占める。一方、日光、県東、県南では「初めて」が最も多かった。

【エリア別】

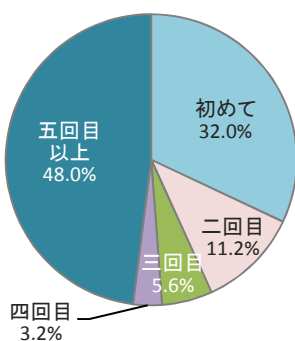
那須エリア(n=340)



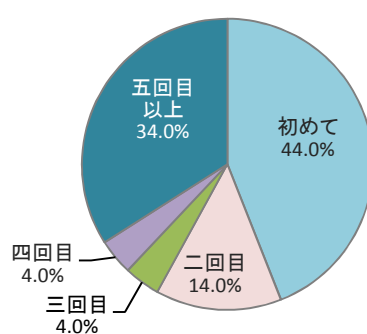
日光エリア(n=365)



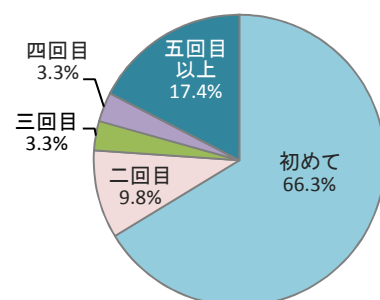
県央エリア(n=125)



県東エリア(n=50)



県南エリア(n=92)

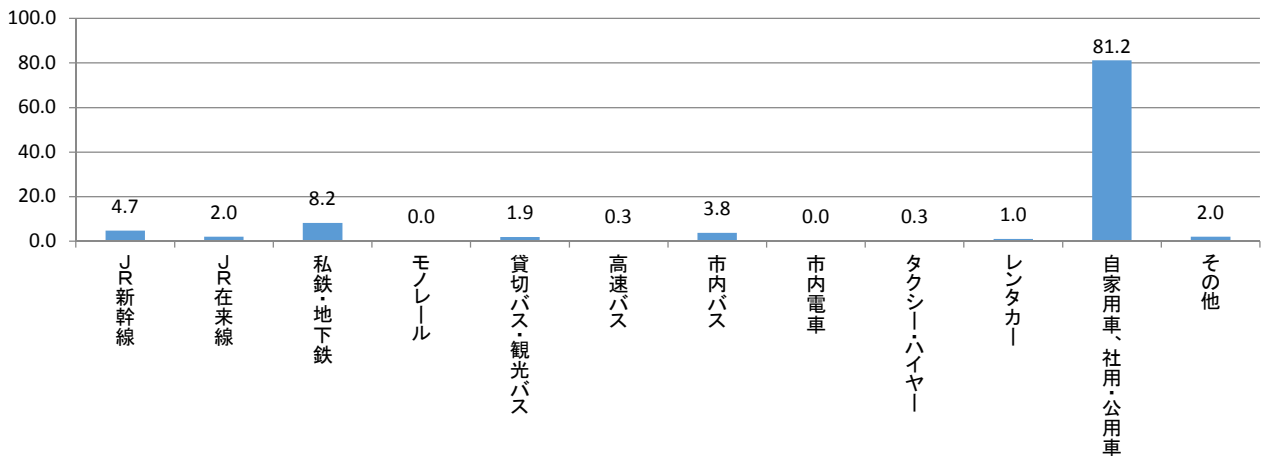


利用交通機関（複数回答）

◇「自家用車、社用・公用車」が最も多く8割を超える。

【県全体】

n=1061



立ち寄り観光施設数 ※「0地点（調査地点以外立ち寄りなし）」を除く

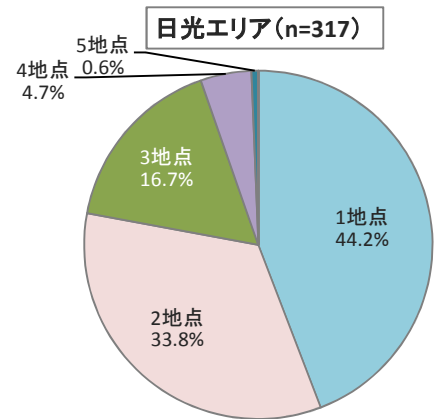
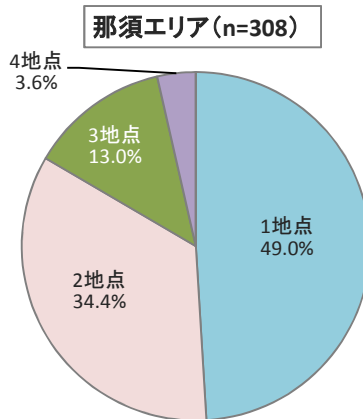
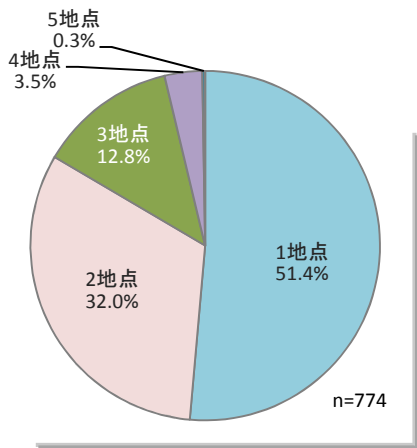
◇1地点から2地点で8割強、3地点が12.8%。各エリアとも「1地点」「2地点」が多い。

立ち寄り観光施設は、県全体では、「1地点」が51.4%で最も多く、次いで「2地点」が32.0%であった。

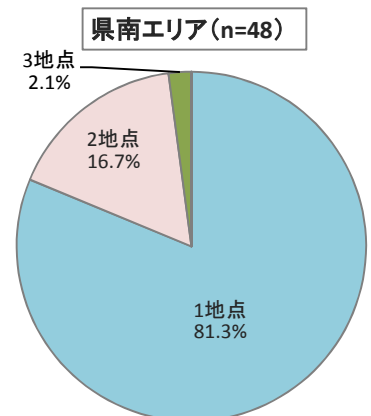
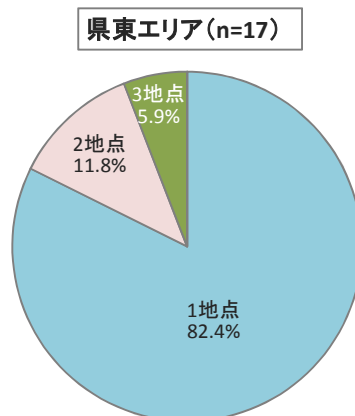
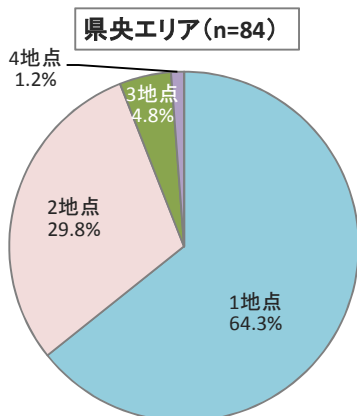
エリアごとに見ると、すべてのエリアで「1地点」「2地点」が多く、「1地点」が4割以上であった。

【県全体】

【エリア別】



【エリア別】



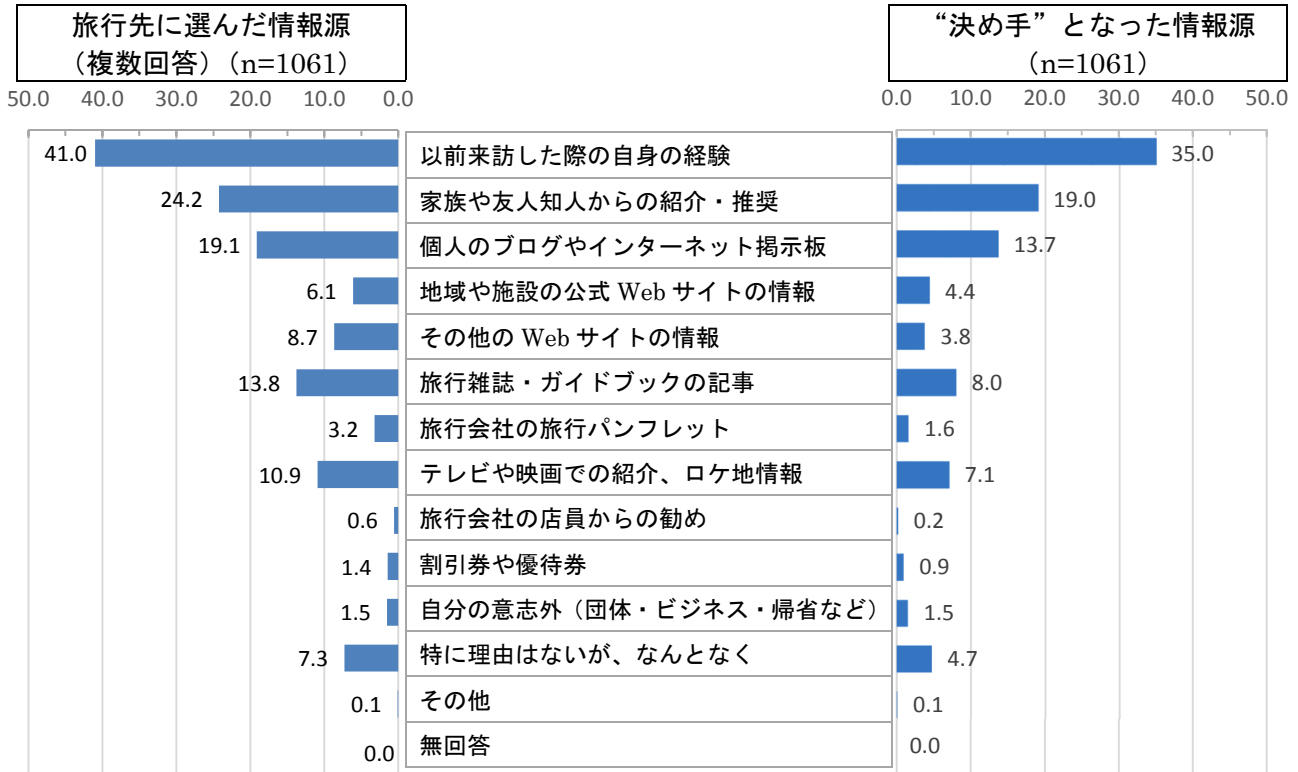
旅行先に選んだ情報源（複数回答）と決め手となった情報源

◇ “決め手” となった情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く 3 割半ば。

旅行先に選んだ情報源は、県全体では、「以前来訪した際の自身の経験」が 41.0%で最も多く、次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」が 24.2%であった。

“決め手” となった情報源も、旅行先に選んだ情報源とほぼ同様の傾向で、「以前来訪した際の自身の経験」が 35.0%で最も多く、次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」が 19.0%であった。

【県全体】



【年代別】※ “決め手” となった情報源の上位 5 項目

NO.	全体 (n=1061)
1	以前来訪した際の自身の経験 35.0
2	家族や友人知人からの紹介・推奨 19.0
3	個人のブログやインターネット掲示板 13.7
4	旅行雑誌・ガイドブックの記事 8.0
5	テレビや映画での紹介、ロケ地情報 7.1

NO.	10・20代 (n=132)
1	個人のブログやインターネット掲示板 30.3
2	以前来訪した際の自身の経験 15.9
3	テレビや映画での紹介、ロケ地情報 12.9
4	家族や友人知人からの紹介・推奨 12.1
5	旅行雑誌・ガイドブックの記事 8.3

NO.	30代 (n=157)
1	以前来訪した際の自身の経験 26.8
2	家族や友人知人からの紹介・推奨 21.7
3	個人のブログやインターネット掲示板 14.6
4	旅行雑誌・ガイドブックの記事 9.6
5	その他の Web サイトの情報 7.0

NO.	40代 (n=184)
1	以前来訪した際の自身の経験 27.7
2	家族や友人知人からの紹介・推奨 21.2
3	個人のブログやインターネット掲示板 15.8
4	テレビや映画での紹介、ロケ地情報 9.2
5	地域や施設の公式 Web サイトの情報 7.6

NO.	50代 (n=203)
1	以前来訪した際の自身の経験 37.4
2	家族や友人知人からの紹介・推奨 18.7
3	個人のブログやインターネット掲示板 11.3
4	旅行雑誌・ガイドブックの記事 8.4
5	テレビや映画での紹介、ロケ地情報 7.4

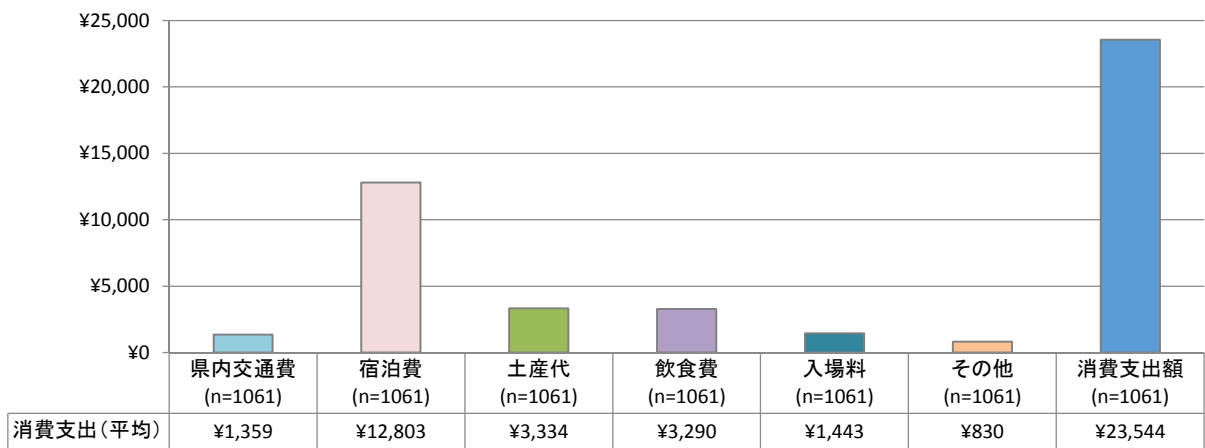
NO.	60代 (n=385)
1	以前来訪した際の自身の経験 47.0
2	家族や友人知人からの紹介・推奨 19.5
3	旅行雑誌・ガイドブックの記事 8.3
4	個人のブログやインターネット掲示板 7.8
5	テレビや映画での紹介、ロケ地情報 4.4

消費支出（平均）

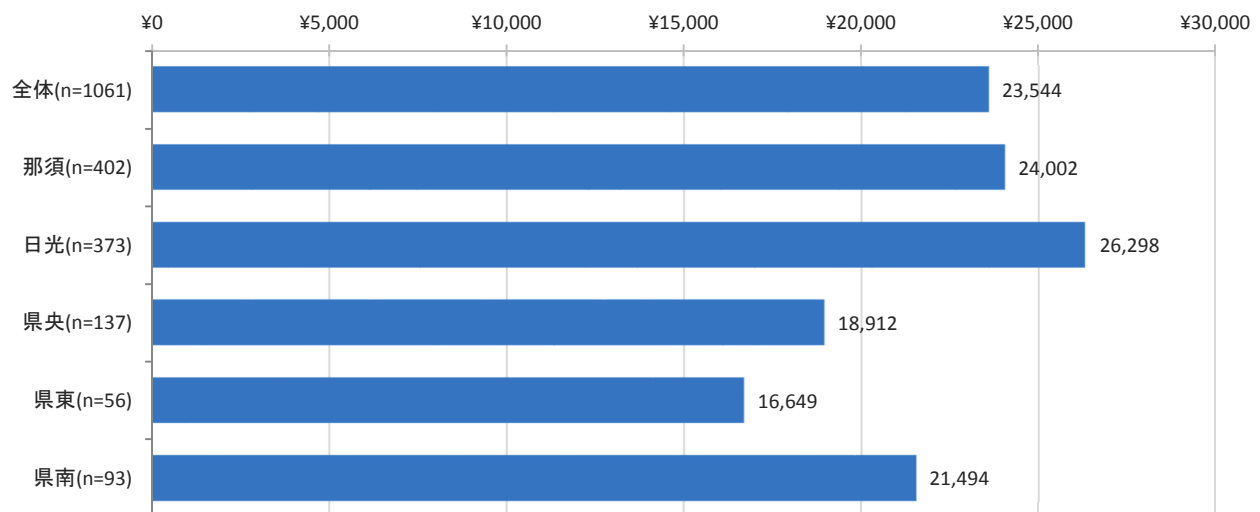
◇宿泊客一人当たりの消費支出の平均は、総額で 23,544 円。
日光で消費支出の総額が最も高い。

宿泊客一人当たりの消費支出の平均は、県全体では、総額で 23,544 円。
内訳は、「宿泊費」が 12,803 円と最も高く、次いで「土産代」が 3,334 円であった。
エリアごとに見ると、消費支出額は日光が 26,298 円で最も高く、次いで那須が 24,002 円、県南が 21,494 円であった。

【県全体】



【エリア別】



調査地域の総合満足度／再来訪意向

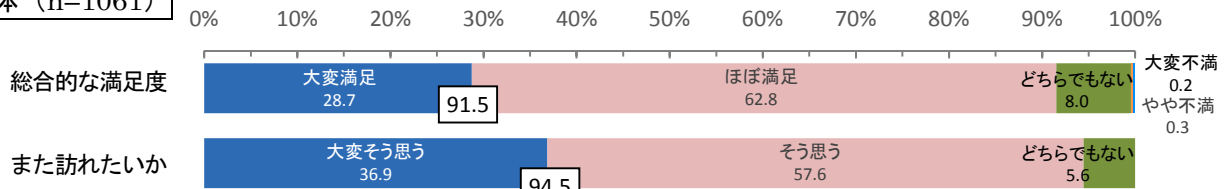
◇総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせて約9割を超える。

県全体では、調査地域への総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせて91.5%であった。また訪れたいかは「大変そう思う」と「そう思う」をあわせて94.5%と9割を超える。

エリアごとに見ると、総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が、すべてのエリアで8割を超える。また訪れたいかは「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が、すべてのエリアで8割を超えた。

【県全体】

全体 (n=1061)



【加重平均値】

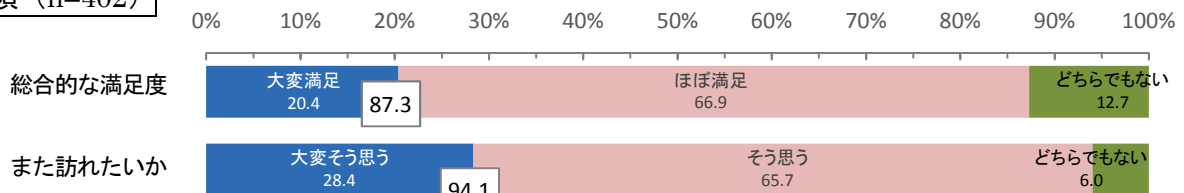
総合的な満足度	また訪れたいか
1.20	1.31

加重平均：肯定意見「大いに（大変）～」を+2、「やや（ほぼ）～」を+1に、中間意見「どちらでもない」を0、否定意見「あまり（やや）～ない」を-1、「全く（大変）～ない」を-2に置き換えて算出した平均値で、+の数値で肯定的、-の数値で否定的な度合いとなる。

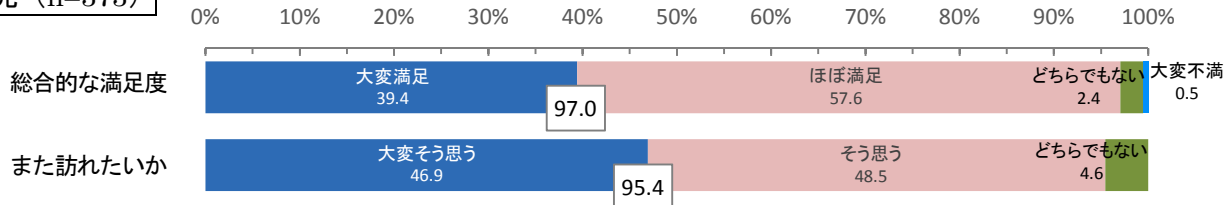
【エリア別】

※口内の数字は、「大変満足」と「ほぼ満足」または「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた数。

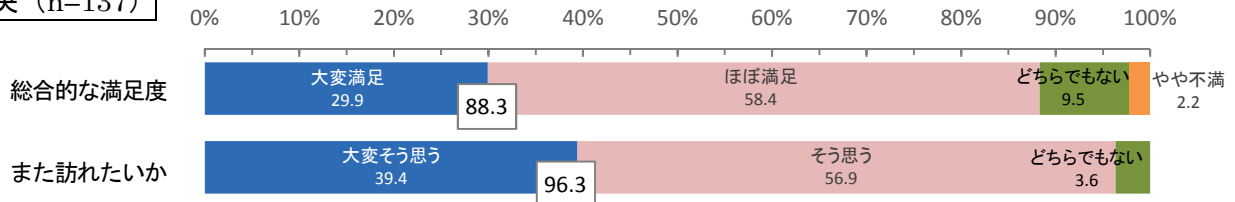
那須 (n=402)



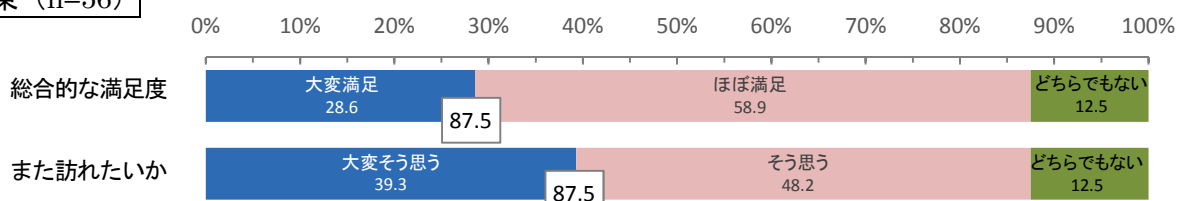
日光 (n=373)



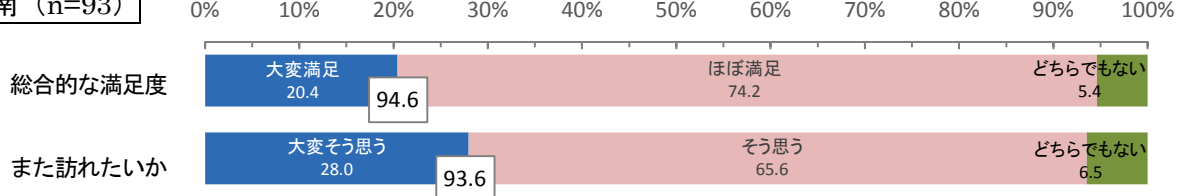
県央 (n=137)



県東 (n=56)



県南 (n=93)



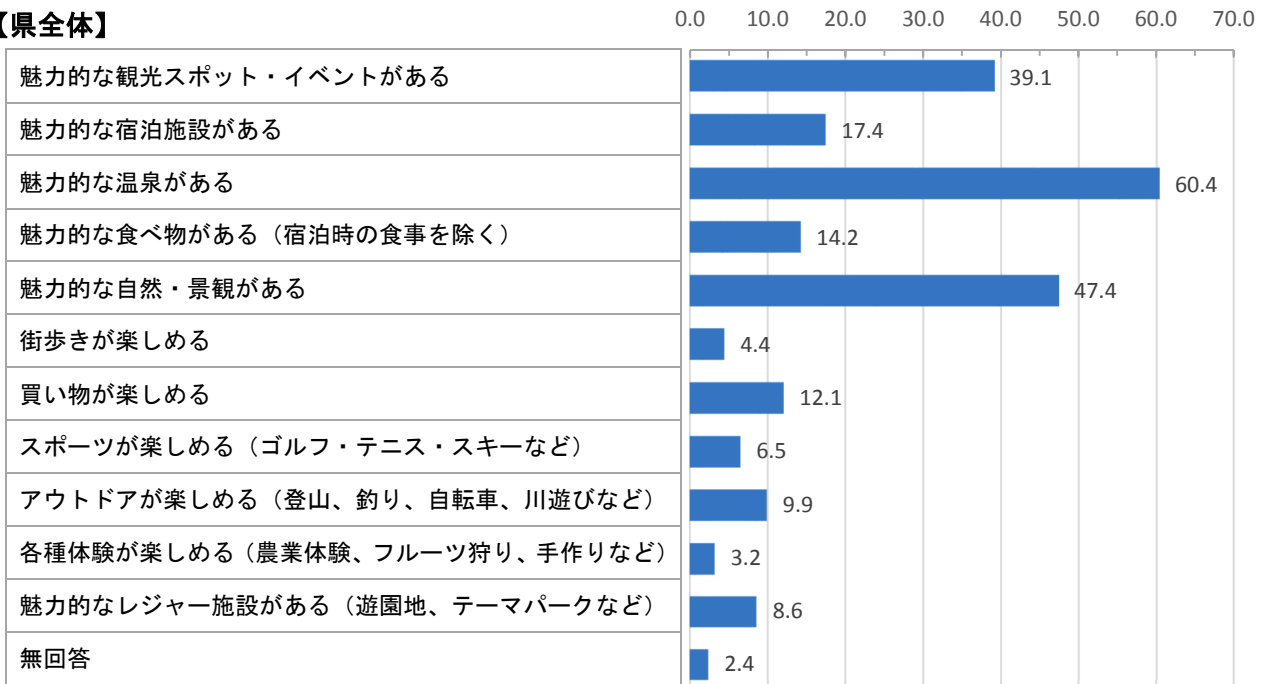
栃木県の魅力が1位だと感じるもの

◇「魅力的な温泉がある」が最も多く約6割。

栃木県の魅力が1位だと感じるものについて、県全体では、「魅力的な温泉がある」が60.4%で最も多く、次いで「魅力的な自然・景観がある」が47.4%、「魅力的な観光スポット・イベントがある」が39.1%であった。

エリアごとに見ると、「魅力的な温泉がある」が那須で59.7%、県央で73.7%と最も多く、「魅力的な自然・景観がある」が日光で59.8%、県東で58.9%と最も多い。また、県南では「魅力的な観光スポット・イベントがある」が66.7%と最も多かった。

【県全体】



【エリア別】※上位5項目

NO.	全体(n=1061)	那須(n=402)	日光(n=373)
1	温泉(60.4%)	温泉(59.7%)	自然・景観(59.8%)
2	自然・景観(47.4%)	自然・景観(35.3%)	温泉(58.7%)
3	観光スポット・イベント(39.1%)	宿泊施設(21.4%)	買い物(53.1%)
4	宿泊施設(17.4%)	観光スポット・イベント(20.6%)	宿泊施設(11.5%)
5	食べ物(14.2%)	買い物(17.2%)	食べ物(7.8%)

NO.	県央(n=137)	県東(n=56)	県南(n=93)
1	温泉(73.7%)	自然・景観(58.9%)	観光スポット・イベント(66.7%)
2	自然・景観(38.7%)	温泉(55.4%)	自然・景観(55.9%)
3	観光スポット・イベント(32.1%)	観光スポット・イベント(50%)	温泉(53.8%)
4	宿泊施設(21.2%)	宿泊施設(32.1%)	買い物(25.8%)
5	食べ物(16.1%)	食べ物(30.4%)	食べ物(24.7%)

選択肢

1. 魅力的な観光スポット・イベントを見たいから
3. 魅力的な温泉がある
5. 魅力的な自然・景観がある
7. 買い物が楽しめる
9. アウトドアが楽しめる
(登山、釣り、自転車、川遊びなど)
11. 魅力的なレジャー施設がある
(遊園地、テーマパークなど)

2. 魅力的な宿泊施設がある
4. 魅力的な食べ物がある（宿泊時の食事を除く）
6. 街歩きが楽しめる
8. スポーツが楽しめる（ゴルフ、テニス、スキーなど）
10. 各種体験が楽しめる
(農業体験、フルーツ狩り、手作りなど)